

抗人唾液免疫家兔血清ニ於ケル型特異性 抗體(特ニ型的沈降素)ノ產生ニ就イテ

附. 該抗血清並ビニ抗 O 型人唾液免疫家兔血清ニ對スル沈降反應ニ依ル各型人唾液ノ「排出型」「非排出型」ニ就イテ

(人唾液中ニ於ケル型的物質ニ關スル血清學的研究)
(第 1 編)

金澤醫科大學法醫學教室(主任古畑教授)

助手 醫學士 越 野 達 郎

Taturo KOSINO

(昭和13年11月14日受附 特別掲載)

(本論文ノ要旨ハ昭和13年4月第23次日本法醫學會總會ニ於テ發表シタ)

内 容 抄 録

人唾液中ニ含マレテケル型特異性物質ヲ, 專ラ免疫學の方面ヨリ證明セントシ, 各型人唾液ヲ以テ家兔ヲ免疫シテ得タ抗血清ニ就イテ, 型的免疫抗體ノ檢索ヲ試ミ, 次ギノ如キ結果ヲ得タ.

抗人唾液免疫家兔血清ニ就テ, 從來報告サレタ種屬特異性抗體, 臟器特異性抗體, 型特異性凝集素, 型特異性補體結合性抗體ヲ證明シタ他ニ, 今日マテ何人ニヨツテモ其ノ產生ヲ證明サレ無カッタ型特異性沈降素ヲ證明シ得タ. 即チ人唾液中ニ存スル液狀態ニ於ケル型的沈降原ヲ免疫學のニ證明スル事ニ成功シタ.

更ニ, 之等ノ型的免疫抗體產生ノ難易ハ, 家兔ノ個性ニヨルモノデアラウト云フ漠然トシタ從來ノ考ヘニ對シテ, 家兔ノ「血清型」以外ニ, 免疫人唾液ノ「排出型」「非排出型」ヲ考慮ニ入レル事ニ依ツテ, 型的免疫抗體產生ノ目的ヲ達シ得ルモノデアル事ヲ知ツタ. 即チ「排出型」人唾液免疫ニ於テハ型的免疫抗體ヲ產生サセル事ガ出來タガ, 「非排出型」人唾液免疫ニ依ツテハ產生サセル事ガ出來無カッタ.

又生(又ハ煮沸)O型人唾液免疫ニ於テ, 從來免疫動物トシテ家兔ヲ用ヒタ時ニハ產生不可能デアツタO型唾液ノ「排出型」「非排出型」鑑別用抗血清(加賀谷氏等ノ所謂第3異性抗原ニ對スル抗體ト見做スベキモノ)ヲ, 家兔トハ其ノ血清學的體質ヲ異ニスル家兔ヲ用ヒル事ニ依ツテ產生サセル事ガ出來タ.

尙, 人唾液免疫ニ依ル型的免疫抗體產生ト關係アル家兔ノ個性ニ就イテハ, 後編ニ於テ詳述スル事トシタ.

目 次

第 1 章 緒 言	第 1 節 抗生各型「排出型」唾液免疫家兔血清ニ於ケル凝集反應
第 2 章 文獻概要	
第 3 章 實驗材料ト實驗方法	第 1 項 抗生 AS 型唾液免疫家兔血清ニ就イテ
第 4 章 抗人唾液免疫家兔血清ニ於ケル人血球凝集反應	第 2 項 抗生 BS 型唾液免疫家兔血

- 清 = 就イテ
- 第3項 抗体 ABS 型唾液免疫家兔血清 = 就イテ
- 第2節 抗体「非排出型」唾液免疫家兔血清 = 於ケル凝集反應
- 第3節 抗 O 型唾液免疫家兔血清 = 於ケル凝集反應
- 第4節 抗煮沸各型「排出型」唾液免疫家兔血清 = 於ケル凝集反應
- 第1項 抗煮沸 AS 型唾液免疫家兔血清 = 就イテ
- 第2項 抗煮沸 BS 型唾液免疫家兔血清 = 就イテ
- 第3項 抗煮沸 ABS 型唾液免疫家兔血清 = 就イテ
- 第5章 抗人唾液免疫家兔血清 = 於ケル沈降反應
- 第1節 正常家兔血清ノ人唾液及ビ人血清 = 對スル沈降反應
- 第2節 抗人唾液免疫家兔血清中ニ於ケル種屬特異性沈降素ノ證明
- 第1項 各型人血清 = 對スル沈降反應
- 第2項 人體液 = 對スル沈降反應
- 第3項 動物血清 = 對スル沈降反應
- 第3節 抗人唾液免疫家兔血清中ニ於ケル抗人唾液特異性免疫沈降素ノ證明
- 第1項 各型人唾液 = 對スル沈降反應
- (I) 抗体 AS 型唾液免疫家兔血清 = 就イテ
- (II) 抗体 BS 型唾液免疫家兔血清 = 就イテ
- (III) 抗体 ABS 型唾液免疫家兔血清 = 就イテ
- (IV) 抗体 As 型又ハ Bs 型唾液免疫家兔血清 = 就イテ
- (V) 抗体 O 型唾液免疫家兔血清 = 就イテ
- 第2項 人血清 = 依ル吸着試験
- 第3項 動物唾液 = 對スル沈降反應
- 第4節 抗人唾液免疫家兔血清 = 於ケル型的沈降素ノ證明
- 第1項 抗体各型「排出型」唾液免疫家兔血清 = 就イテ
- (I) 抗体 AS 型唾液免疫家兔血清 = 就イテ
- (II) 抗体 BS 型唾液免疫家兔血清 = 就イテ
- (III) 抗体 ABS 型唾液免疫家兔血清 = 就イテ
- 第2項 抗体「非排出型」唾液免疫家兔血清 = 就イテ
- 第3項 抗体 O 型唾液免疫家兔血清 = 就イテ
- 第5節 抗煮沸人唾液免疫家兔血清 = 於ケル型的沈降素ノ證明
- 第1項 抗煮沸 AS 型唾液免疫家兔血清 = 就イテ
- 第2項 抗煮沸 BS 型唾液免疫家兔血清 = 就イテ
- 第3項 抗煮沸 ABS 型唾液免疫家兔血清 = 就イテ
- 第4項 抗煮沸 O 型唾液免疫家兔血清 = 就イテ
- 第6節 抗煮沸 O 型唾液免疫家兔血清 = 於ケル沈降反應
- 第7節 抗 AS 型又ハ BS 型唾液免疫家兔血清並ビニ抗煮沸 OS 型唾液免疫家兔血清 = 依ル各型唾液ノ「排出型」「非排出型」ノ鑑別
- 第6章 抗人唾液免疫家兔血清 = 於ケル補體結合反應
- 第1節 抗人唾液免疫家兔血清ノ各型人血球酒精越幾斯ニ對スル補體結合反應
- 第1項 抗 AS 型唾液免疫家兔血清 = 就イテ
- (I) 抗体 AS 型唾液免疫家兔血清 = 就イテ
- (II) 抗煮沸 AS 型唾液免疫家兔血清 = 就イテ
- 第2項 抗 BS 型唾液免疫家兔血清 = 就イテ
- (I) 抗体 BS 型唾液免疫家兔血清 = 就イテ
- (II) 抗煮沸 BS 型唾液免疫家兔血清 = 就イテ

- 血清ニ就イテ
- 第3項 抗 ABS 型唾液免疫家兔血清ニ就イテ
- (I) 抗生 ABS 型唾液免疫家兔血清ニ就イテ
- (II) 抗煮沸 ABS 型唾液免疫家兔血清ニ就イテ
- 第4項 抗生「非排出型」唾液免疫家兔血清ニ就イテ
- (I) 抗生 As 型唾液免疫家兔血清ニ就イテ
- (II) 抗生 Bs 型唾液免疫家兔血清ニ就イテ
- 第5項 抗生 O 型唾液免疫家兔血清ニ就イテ
- 第2節 抗人唾液免疫家兔血清ノ各型人唾液ニ對スル補體結合反應
- 第1項 抗 AS 型唾液免疫家兔血清ニ就イテ
- (I) 抗生 AS 型唾液免疫家兔血清ニ就イテ
- (II) 抗煮沸 AS 型唾液免疫家兔血清ニ就イテ
- 第2項 抗 BS 型唾液免疫家兔血清ニ就イテ
- (I) 抗生 BS 型唾液免疫家兔血清ニ就イテ
- (II) 抗煮沸 BS 型唾液免疫家兔血清ニ就イテ
- 第3項 抗 ABS 型唾液免疫家兔血清ニ就イテ
- (I) 抗生 ABS 型唾液免疫家兔血清ニ就イテ
- (II) 抗煮沸 ABS 型唾液免疫家兔血清ニ就イテ
- 第4項 抗生「非排出型」唾液免疫家兔血清ニ就イテ
- (I) 抗生 As 型唾液免疫家兔血清ニ就イテ
- (II) 抗生 Bs 型唾液免疫家兔血清ニ就イテ
- 第5項 抗生 O 型唾液免疫家兔血清ニ就イテ
- 第7章 總括及ビ結論
文 獻

第1章 緒 言

人唾液中ニハ、ABO 式血液型ニ一致シタ型特異性物質ガ存在シ、人唾液ヲ血液型ト同様、O 型、A 型、B 型及ビ AB 型ノ4型ニ分類シ得ル事ハ、既ニ多數諸家ノ實驗ニヨリ、殆ンド我々ノ常識トナツテキル。

其ノ後ノ研究ニヨリ、之等ノ型的物質(型質)(Typensubstanz)ガ證明サレ無イ(又ハサレ難イ)場合ガアリ、A 型、B 型、AB 型ノ唾液デモ、O 型唾液ト間違ハレル様ナ事實ガ發見サレ O 型ヲ除ク各型唾液ヲ、夫々型的物質ヲ容易ニ證明サレ得ル「排出型」„Ausscheidungstypus“ト、型的物質ガ全ク存在シ無イカ、或ハ僅カシカ存在シ無イタメニ證明サレ得無イ(又ハサレ難イ)「非排出型」„Nichtausscheidungstypus“ノ2型ニ分カテ得ル事ガ明確トナツタ。

更ニ最近、O 型唾液ニ於テモ、加賀谷氏等ノ抗海狸腎臟免疫山羊血清又ハ吉川氏ノ抗人血球免疫家兔血清ヲ用ヒテ、型的物質デハ無イガ、各型「排出型」人唾液ニ共通ニ存スル所謂加賀谷氏等ノ第3異性抗原ナルモノノ多寡ニヨリ、O 型ヲモ含ム各型人唾液ノ「排出型」、「非排出型」ノ鑑別ガ出來ル様ニナリ、今日ニ於テハ、人唾液ノ型ハ、O 型、A 型、B 型、AB 型ヲ夫々更ニ「排出型」ト「非排出型」ノ2型ニ分ケテ、合計8型ニ分類出來ル事トナツタ。

從來、人唾液中ノ型的物質ヲ免疫學的ニ證明センガタメニ、A 型又ハ B 型人唾液ヲ以テ免疫實驗ヲ行ヒ、其ノ抗血清中ニ型的免疫抗體(型的凝集素、型的補體結合性抗體)ヲ證明シタ

報告ハ有ルガ、同一條件ノ下ニ行ハレタ實驗ニ於テ、型的免疫抗體ヲ容易ニ產生サセ得ル場合ト、產生サセ難イ場合ノアル事實ハ認メテキテモ、唯之レヲ漠然ト家兎ノ個性ニ依ルモノトノミ見做シ、該個性ノ究明並ビニ免疫唾液ノ型ノ撰擇等ニ關シテ、研究ヲ試ミタ報告ハ未ダ見ナイ。

茲ニ於テ、余ハ人唾液ノ「排出型」、「非排出型」ニ關スル事實並ビニ余ノ實驗ニヨツテ其ノ一端ヲ明カニシ得タト信ズル免疫家兎ノ個性(コノ事ニ就イテハ第2編ニ於テ述ベル)ニ充分ナル考慮ヲ拂ヒ、免疫學的ニ、人唾液中ニ於テ液状態ヲナセル型の凝集原、型的沈降原、型的補體結合性抗原ナルモノノ證明ヲ試ミントシ、抗人唾液免疫家兎血清中ニ於テ、之等ニ對スル型的免疫抗體、特ニ今日マデ何人ニヨツテモ證明サレ無カッタ型的沈降素ノ檢索ヲ試ミ、見ルベキ結果ヲ得、更ニ抗O型人唾液免疫家兎血清ニ於テ、家兎ノ人唾液免疫ニ依ツテ產生不可能デアツタO型唾液ノ「排出型」、「非排出型」鑑別用抗血清ヲ得ル事ガ出來タノデ、茲ニ、其ノ實驗成績ヲ報告シ諸先輩ノ御批判ヲ仰グ次第デアル。

第2章 文 獻 概 要

始メニ免疫ニ依ラズシテ人唾液中ノ型的物質ヲ論ジタ文獻ヲ述べ、次ギニ各型人唾液免疫ニ依ル型的免疫抗體ノ產生ニヨリ人唾液中ノ型的物質ヲ論ジタ文獻ヲ述べル事トスル。

(I) 免疫ニ依ラズシテ人唾液中ノ型的物質ヲ論ジタ文獻ニ就イテ

1924—1926年⁽³⁾山上教授門下ノ白井(三郎)⁽⁴⁾⁽⁵⁾ハ人精液、鼻液、腔及ビ子宮分泌液ノ外ニ人唾液ニ就イテ型特異性物質ノ研究ヲ試ミ、人唾液中ニハ同種血球凝集素ハ無イガ、同種血球凝集反應ノ型特異的ニ阻止スル物質(即チ型特異性同種血球凝集阻止物質)ノ存在ヲ認メ、K.Landsteiner and Ph. Levine⁽⁶⁾(1926)ハ人精液及ビ精蟲ニ於テ、大内(出)⁽⁵⁾(1926)ハ唾液以外ノ膽汁粘素、臍帶ムコイドニ於テモ型特異性凝集阻止物質ノ證明ヲナシタ。

其ノ後、各種人體液中ノ型的物質ニ關スル研究ハ陸續トシテ行ハレタガ、就中、人唾液中ノ型的物質ハ特ニ法醫學上ノ應用ニ重要ナ問題トシテ注目サレタ。

即チ、G. Greenfield⁽⁶⁾(1928)ハ抗A血清ト人血清及ビ人唾液トノ補體結合反應ヲ試ミ、A型ノ唾液ハ著明ナル型的補體結合反應ヲ起ストナシ、唾液中ニモ又A物質ノ存在スル事ヲ主張シ、S. Diniz⁽⁷⁾(1925)ハ、コレヨリ先、初生兒屍ノ胃中ニ唾液ヲ證明スル事ニヨリ産後生存セルヤ否ヤヲ斷ジ得ルト信ジ、補體結合反應、過敏性ショック、沈降反應ニヨリ唾液特異性蛋白ヲ證明シタト云フガ、遺憾ナガラ其ノ記載ハ明瞭ヲ缺イテキル。

古橋(寛一郎)⁽⁸⁾(1927)ハ諸種人體液中ノ同種血球凝集素ニ就イテ、ソノ檢索ヲ試ミタガ、白井ト同様唾液中ニハ之レヲ認メル事ガ出來無カッタ。然ルニ吉田(寛一)⁽⁹⁾(1928)ハ唾液内ニハ同種血球凝集素ノ外ニ、動物血球ニ對スル異種血球凝集素ヲモ含有スル事ヲ確認シ、更ニ白井ノ說ノ如ク唾液ノ外ニ、諸種人體液臟器、細胞等ニモ型特異性同種血球凝集阻止物質ノ存在スル事ヲ明カニシ、血液ノ代リニ唾液ニヨツテ血液型ヲ判定スル方法ヲ發表シタ。

其ノ後、H. Lehrs⁽¹⁰⁾(1930)モ人唾液中ノ型特異性同種血球凝集阻止物質ニ關スル報告ヲナシ、B. Brahn u. F. Schiff⁽¹¹⁾(1929)、F. Schiff⁽¹²⁾(1931)ハA型特異性山羊血球溶血阻止反應ニヨツテ人唾液中ノA型質ヲ證明シテキルガ、初メニ吉田氏ニヨツテ唱ヘラレタ唾液ニ依ル血液型ノ檢査法ハB. Müller⁽¹³⁾(1928)

原口(一億)⁽¹⁴⁾(1929), 淺田(一)⁽¹⁵⁾(1929), 古畑(種基)⁽¹⁶⁾(1930), T. Putkonen⁽¹⁷⁾(1930), 速水(寅一)萩(章)⁽¹⁸⁾(1930), 北村(武彦)⁽¹⁹⁾, 小熊(英夫)(1931), 山本(千住)⁽²⁰⁾(1931), 中山(福富)⁽²¹⁾(1931), 奥村(尙輔), 山本(良一)⁽²²⁾(1931), 伊藤(恰)⁽²³⁾(1932), 森(英雄)⁽²⁴⁾(1932), 越後(一雄)⁽²⁵⁾(1933), 上道(清一), 正木(信夫)⁽²⁶⁾(1935)等ノ多數諸家ニヨツテ實際應用ニ關スル研究ガナサレタ。

一方, 唾液中ノ型的同種血球凝集素ノ證明ニ關シテハ吉田ノ外ニ, 喜多見(行正)⁽²⁷⁾(1931), 上道(清一), 正木(信夫)⁽²⁸⁾(1934)等ノ實驗ガアル。喜多見ハ唾液ヲ濃縮シテ型的同種血球凝集素ヲ證明シ, 更ニ唾液ヲ耳下腺, 舌下腺, 顎下腺ヨリ別々ニ採取シテ検査シ, 耳下腺ヨリ出ル唾液ガ最も多ク該凝集素ヲ含ムモノデアルト述べ, 上道, 正木ハ型的同種血球凝集素ノ外ニ, 異種血球凝集素ノ存在ヲ確認シテキル。

以上諸家ノ成績ヨリ, 今日ニ於テハ, 人唾液中ニハ型的同種血球凝集阻止物質, 型的同種血球凝集素及ビ異種血球凝集素ガ存在スル事ハ一般ニ是認サレテキル。

1932年 F. Schiff u. H. Sasaki⁽²⁹⁾⁽³⁰⁾, H. Sasaki⁽³¹⁾ハ人唾液ノ型的物質ノ検索ニ當ツテ, A型, B型, AB型唾液各型ニ於テ型的凝集阻止物質並ビニ型的溶血阻止物質ノ存在ヲ容易ニ證明シ得ル場合ト, 證明シ得ナイ場合トガアルト云ヒ, 前者ヲ「排出型」„Ausscheider“, 後者ヲ「非排出型」„Nicht-Ausscheider“ト名ズケ, 又O型唾液ニ於テハ牛血清ニ對スル異種血球凝集阻止價ノ高低ニヨリ, 「排出型」ト「非排出型」トニ分カチ得ルトナシ, 而モ之等ハ血液型トハ別個ニ「メンデル」ノ法則ニ從フ一遺傳性質デアルト報告シタ。而シテ之ヨリ先ニモ, 白井(三郎)⁽³²⁾(1926), B. Brahn u. F. Schiff⁽¹¹⁾(1929), H. Lehrs⁽¹⁰⁾(1930), T. Putkonen⁽¹⁷⁾(1930), F. Schiff u. M. Akune⁽³²⁾(1931)等ハ人唾液ノ型的凝集阻止反應ニ於テ, 其ノ阻止價ニ著シク個人的ノ差ガアル事ハ大體ニ於テ認メテ居タコトハ注目スベキデアル。

其ノ後, W. Henle⁽³³⁾(1933), 石井(清)⁽³⁴⁾(1934), 久保(忠夫), 石井(清)⁽³⁵⁾(1934), L. Hirsfeld⁽³⁶⁾(1934), 野村(捷一)⁽³⁷⁾(1934), 陳(増全)⁽³⁸⁾(1935), 永井(恒)⁽³⁹⁾(1935), 鈴木(壽六)⁽⁴⁰⁾(1936)ノ諸氏ニヨリ追試サレ, 特ニ石井, 久保, Hirsfeld, 鈴木等ハ「排出型」「非排出型」ノ遺傳關係ニ就キ詳細ナル調査ヲナシ, Schiff u. Sasakiト同様ニ關係ヲ認メ, Henle, 石井ハA型, B型, AB型以外ニ特ニO型ニ就イテ其ノ「排出型」「非排出型」ノ實驗ヲ試ミタガ, 共ニ Schiff u. Sasakiノ云フ様ナ結果ハ得無カッタト報告シテキル。

更ニ其ノ後, 「排出型」「非排出型」ノ成因ニ關スル問題ガ各方面カラ検討サレルニ到ツタ。即チ,

(第1), 「排出型」「非排出型」ハ人血清中ノ型質ノ多少ニヨリ來ルノデナイカト云フ問題ニ就イテハ既ニ野村(捷一)⁽³⁷⁾(1934)其ノ他ノ實驗ニヨリ人血清中ノ型質量ト唾液中ノ型質量トハ何フ關係無キ事ガ明カニサレタ。

(第2), 人唾液中ノ所謂 Blutgruppenfermentノ作用ニヨリ型質ガ如何ナル程度ニ破壊サレルカニヨリ「排出型」「非排出型」ガ生ズルノデナイカノ問題デアルガ, 所謂 Blutgruppenfermentノ本態ニ關シテハ, 今日ナホ不明ノ點ガ多ク, 從ツテ諸家ノ說モナホ一致ヲ見ナイ。即チ, F. Schiff u. M. Akune⁽³²⁾(1931), F. Schiff u. G. Weiler⁽⁴¹⁾(1931)等ハ人唾液中ノ所謂 Blutgruppenfermentハ細菌ト關係無ク身體細胞ヨリ分泌サレル一種ノ Fermentデアツテ, 型的凝集阻止物質ヲ破壊消失セシメルモノデアルト報告シタガ, E. Witebsky u. T. Satoh⁽⁴²⁾(1933), E. Witebsky u. W. Henle⁽⁴³⁾(1933), 佐藤(武雄)⁽⁴⁴⁾⁽⁴⁵⁾(1933—1934)等ハ Schiff等ノ說ニ反對シ, 含嗽前後ニ於ケル唾液ノ型質破壊作用ニ幾分變動アル事實ヨリ, 所謂 Blutgruppenfermentハ細菌ト何等カノ關係アル酵素様物質デ, 唾液中ニ獨自ノ發生ヲ營ムモノデアルト主張シテキル。其ノ他, 野村(捷一)⁽³⁷⁾(1934), O. Sievers⁽⁴⁶⁾(1934—1935), 増田(秋男)⁽⁴⁷⁾(1935)等ハ更ニ詳細ナル實驗ヲナシ, Witebsky u. Satoh等ノ說ニ賛成シテキルガ, 陳(増全)⁽³⁸⁾(1936)ハ唾液ノ型的破壊物質ノ本態ニ關スル研究ニ於テ, 型質ノ破壊作用ハ細菌ニ關與無クテモ其ノ作用ヲ發揮シ得ル事實ヲ認

メ, Schiff 等ノ説ヲ承認シテキル。

更ニ, A. Stimpff⁽⁴⁸⁾(1932), F. Schiff, M. Cahen u. A. Stimpff⁽⁴⁹⁾(1932), F. Schiff u. F. Burón Alonso⁽⁵⁰⁾(1935)等ノ詳細ナル報告モアルガ, 所謂 Blutgruppenferment ノ本態ニ關シテハ今日ナホ一致シタ成績ヲ見ナイ以上, 唾液ノ「排出型」「非排出型」ハ, 該 Blutgruppenferment ニヨツテ果シテ如何ナル程度ニ影響ヲ受ケルカノ問題モナホ不明デアアル。

(第3), 「排出型」「非排出型」ハ唾液腺細胞ノ特殊機能ニヨツテ生ズルモノデナイカト云フ問題デアアル。野村(捷一)⁽⁵⁷⁾(1934)ハ人屍ノ唾液腺浸出液ニ就キ實驗ヲ試ミ, 型質ヲ證明シ得ルモノト, 證明シ難イモノトアル事ヲ認め, 「排出型」「非排出型」ハ唾液腺細胞ノ特殊分泌機能ニヨツテ生ズルモノデアラウトノ推論ヲ下シテキルガ, 又, 田代(歎一)⁽⁵¹⁾(1937)ハ人屍ノ耳下腺, 顎下腺, 舌下腺ヲ別々ニ剔出シテ, ソノ食鹽水浸出液ニ就キ型質ヲ檢シタ處, 型質ノ含有量ハ舌下腺ニ最も多ク, 顎下腺之レニ次ギ, 耳下腺ニハ極メテ僅カデアルト云フ事實ヲ見, 「排出型」「非排出型」ハ舌下腺及ビ顎下腺ノ型質分泌能力ニ存スルモノデアラウト述ベテキル。

最近, V. Friedenreich⁽⁵²⁾(1937), V. Friedenreich u. G. Hartmann⁽⁵³⁾(1938)等ハ數種動物特ニ馬ノ唾液ニ就キ實驗ヲ試ミ, 之等ノ血球中ニ存スルA型質ノ有無ト唾液中ニ證明サレルA型質ノ有無トニハ何ラ一定ノ關係ガナイ事, 人體ニ於テ體液中ニ型質ノ證明サレル量ト, 體內ヲ循環シテキル血液中ノ型質量トヲ比較スル事ニヨツテ, 血球中ノ型質ガ骨髓細胞ニ於テ產生サレルト同様ニ, 唾液中ノ型質ハ獨自ノ立場ヲ以テ唾液腺ヨリ分泌サレルモノデアリ, 而シテ「非排出型」ハ該腺細胞ニ型質生成(分泌)能力ノ全々缺クカハ微弱ナ場合デアラウトナシ, 腺細胞分泌説ヲ主張シテキル。

(第4), 又最近, G. Hartmann⁽⁵⁴⁾(1938)ハ「排出型」「非排出型」ノ區別ハ, 其ノ臟器中ニ含有サレテキル水溶性型質ノ多寡ニ依ツテ生ズルモノデアルト云フ注目スベキ説ヲ述ベテキルガ,

以上, (第1), (第2), (第3), (第4)ヲ通ジテ今日最モ興味アル問題ハ, (第3)ノ腺細胞分泌説及ビ(第4)デアルト思ハレル。

一方, 川西(兼敏)⁽⁵⁵⁾(1936), F. J. Holzer⁽⁵⁶⁾(1936)ハ型質價ノ變動ハ, 時ニハ可成大ナルモノデアリ, 同一人ノ唾液デモ, ソノ採取時ニヨリ, 或時ハ「排出型」ト判定サレ, 或ル時ハ「非排出型」ト判定サレル様ナ場合ガアル事ヲ報告シテキル。

沈降反應ニ於テハ, 深尾(立雄)⁽⁵⁷⁾⁽⁵⁸⁾(1936)ガ抗A又ハ抗B人血球免疫家兔血清中ニ產生シ得タ型的沈降素ヲ以テ, 唾液中ノ型的沈降原ノ證明ヲナシ, 該型的沈降原ノ證明シ得ルモノト, 證明シ得無イ(又ハ證明シ難イ)モノトアル事實ヨリ, 型的沈降反應ニヨル「排出型」「非排出型」ノ簡明鑑別法ヲ發表シ, 更ニ該型的沈降原ノ排出状態ヲ, 同一人ニ就キ長期ニ渡ツテ觀察シ, 又食事ノ前後, 含嗽ノ前後ニ於テ検査シタ結果, 殆ソド見ルベキ差異ガ無カツタト報告シテキルガ, 谷村(吉三)⁽⁵⁹⁾(1938)ハ之レニ反對シ, 唾液採取時ニヨル型的沈降原ノ可成大ナル變動及ビ「排出型」「非排出型」ノ移行型ノ存在ヲ認メテキルガ, 深尾ノ實驗トハ, ソノ方法操作ニ於テ大分異ツタ點ガ在リ, 又其ノ考ヘ方モ異ナルノデ, 何レガ正シイカ, ナホ今後ノ研究ニ待タネバナラナイ問題デアアル。

何レニセヨ, 「排出型」「非排出型」ガ如何ナル原因ニヨツテ生ズルカノ問題ニ關シテハ, ナホ一致シタ結論ヲ得ナイガ, 型質量ノ大ナル變動ハ若シアツタニシテモ, 極ク稀ナ場合デアツテ, 唾液中ノ型質ノ存在ハ勿論, 型質ノ多寡ニヨリ人唾液ヲ「排出型」ト「非排出型」ノ2型ニ分カテ得ルト云フ事實ハ誰シモ認メテキル處デアアル。

以上ハA型, B型, AB型唾液ニ於ケル型的物質ニ就イテ述ベタノデアアルガ, O型唾液ニ就イテハ次ギ

ノ如キ報告ガアル。

即チ、F. Schiff u. H. Sasaki⁽³⁰⁾⁽³⁰⁾(1932), H. Sasaki⁽³¹⁾(1932)ハ牛血清ノ特ニ O 型人血球ニ高イ凝集素價ヲ有スルモノ或ハ人血球 A, B, O 型何レニモ等シク相當高イ凝集素價(40—160 倍)ヲ有スルモノノ AB 型人血球デ吸着後上清ヲ抗 O 型血清ト稱シ、此ノ血清ヲ以テ O 型人唾液ノ凝集阻止價ヲ檢シ、其ノ高低ニヨリ O 型唾液ヲモ「排出型」「非排出型」ノ 2 型ニ分カチ得ルト唱へ、更ニ其ノ遺傳様式ニ於テモ他型ト同様ノ關係ヲ認メテキル。

其ノ後、W. Henle⁽³³⁾(1933), 石井(清)⁽³⁴⁾(1934)ノ實驗ニ於テハ、適當ナ牛血清ヲ得ル事ガ出來ナカツタメカ、Schiff u. Sasaki ノ云フ様ナ結果ハ得ラレナカツタト報告シテキル。最近前田(功)⁽⁶⁰⁾(1938)ハ 50 頭ノ牛血清ヲ檢シ、Schiff u. Sasaki ノ云フ様ナ AB 型人血球デ吸着シテ抗 O 型血清トシテ用ヒ得ル様ナモノハ 1 例モ得ラレ無カツタガ、之等ノ内、唯 1 例ニ於テ、各型人血球ニ等シク高價ナ凝集素價(128 倍)ヲ有スル牛血清ヲ見出し、該血清ヲ用ヒテ各型人唾液凝集阻止價ノ高低ニヨリ、O 型ヲモ含ム「排出型」「非排出型」ノ分類ヲナシタ。然シ此ノ實驗ハ O 型特異性凝集阻止物質ニヨルモノデハ無クシテ、各型唾液ニ共通ニ存スル種屬特異性異種血球凝集素阻止物質ナルモノノ多寡ニヨル分類ニ外ナラナイ。

元來、抗 O 型血清ニ就イテハ、F. Schiff⁽⁶¹⁾(1927)ノ報告以來、E. Witebsky u. K. Okabe⁽⁶²⁾(1927), G. Greenfield⁽⁶⁾(1928), 上道(清一)⁽⁶³⁾(1931), 本多(壽惠雄)⁽⁶⁴⁾(1936)等ノ實驗ガアルガ、何レモ抗 O 型血清ノ存在ヲ否定シテキル。

即チ、該血清ガ O 型ニ高イ凝集素價ヲ示スノハ、抗 O 型凝集素ニヨルノデハ無クシテ、種屬特異性異種血球凝集素ノ量ノ關係ニヨルモノデアツテ、AB 型人血球ノ大量ヲ以テ該血清ヲ吸着シタ場合ニハ、之等ハ凡テ吸着除去サレル事實ヲ擧ゲテ、Schiff ノ云フ様ナ、抗 O 型血清ハ存在シ無イモノデアル事ヲ證明シテキル。

一方、M. Eisler⁽⁶⁵⁾(1931), 矢野(豊)⁽⁶⁷⁾(1933)ガ志賀赤痢菌ニハ「フオルスマン」氏抗原ノ外ニ、各型人血球ニ共通ニ存スル一種ノ異性抗原ガ存在スル事ヲ明カニシテ以來、F. Schiff⁽⁶⁷⁾(1934)ハ抗志賀赤痢菌免疫山羊血清ヲ用ヒテ、凝集阻止反應ニヨリ O 型唾液ヲ「排出型」「非排出型」ニ分カチ得ルト報告シタガ、實際應用ニ用ヒラレルマデニ到ラナカツタ。

然ルニ、1936—1937 年、加賀谷(勇之助)⁽⁶⁸⁾, 水口(俊明)⁽⁶⁹⁾, 内田(慎一郎)⁽⁷⁰⁾, 加賀谷(勇之助), 澤井(豊之助)⁽⁷¹⁾等ハ、抗海獺腎臟免疫山羊血清ヲ用ヒテ沈降反應並ビニ溶血阻止反應ニ依ツテ、O 型ヲモ含ム各型人唾液ノ「排出型」「非排出型」ノ鑑別法ヲ發表シ、加賀谷教授ハ該反應ヲ起サセル抗原ヲ、各型人血球ノミナラズ各型「排出型」唾液ニ共通ニ存スル「フオルスマン」氏抗原ナラザル所謂第 3 異性抗原ト名ズケタ。

其ノ後、深尾(立雄)⁽⁷²⁾(1938)ハ之レヲ追試證明シ、尙人精液ニ就イテモ人唾液ニ於ケルト同様、沈降反應ニヨリ、「排出型」「非排出型」ノ區別ヲナシ得ルコトヲ證明シタ。

更ニ、澤井(豊之助), 加賀谷(勇之助)⁽⁷³⁾(1938)ハ抗人血球免疫山羊血清ヲ用ヒテ同様ノ結果ヲ得、一方ニ於テ當教室ノ吉川(克己)⁽⁷⁴⁾(1938)ハ抗人血球免疫家兔血清ヲ用ヒ、簡便容易ニ沈降反應ニヨル各型唾液及ビ精液ノ「排出型」「非排出型」ノ鑑別法ヲ發表シタ。

以上ヲ要約スレバ、O 型ヲ除ク各型人唾液中ニ、血液型ニ一致シタ型の物質ガ存在スル事、該型の物質ノ多寡ニヨリ人唾液ヲ「排出型」「非排出型」ニ分類シ得ル事。O 型人唾液ニ於テハ、型の物質ニ依ラズシテ、種屬特異性異種血球凝集素阻止物質或ハ加賀谷氏等ノ所謂第 3 異性抗原ノ多寡ニヨリ A 型、B 型及ビ AB 型唾液ト共ニ O 型唾液ヲモ「排出型」「非排出型」ニ分カチ得ル事ガ明カニサレタ。

(II) 人唾液免疫ニ依リ人唾液中ノ型的物質ヲ論ジタ文獻ニ就イテ

人血球免疫ニヨリ型的免疫抗體ノ產生ヲ、型的凝集反應、型的補體結合反應及ビ型的絮狀反應ニヨツテ證明シタ報告ハ、Dungern u. Hirszfild (1911)以來、枚舉ニ邊マナイガ、人唾液免疫ニヨル型的免疫抗體ノ產生ニ關シテハ、ソノ報告ハ數少イ。

1924—1926年白井(三郎)ガ人體分泌液中ニ、液狀態ニ於テ型的物質ヲ發見シテ以來、之等體液ノ免疫ニ依ル型的免疫抗體ノ產生ヲ證明セントスル實驗ガ試ミラル、ニ到ツタ。

即チ、大内(出)⁽⁷⁵⁾(1927)ハ人血清免疫ニ依リ、大内(出)、平野(專)⁽⁷⁶⁾(1928)ハ人精液免疫ニ依リ、長谷川(敏雄)⁽⁷⁷⁾(1929)、水(美登利)⁽⁷⁸⁾(1931)ハ乳汁免疫ニ依リ、夫々型的免疫凝集素ノ產生ヲ證明シテキル。

人唾液免疫ニ關シテハ、1913年 A. Seitz⁽⁷⁹⁾ガ始メテ唾液注射ニヨル過敏症狀ノ研究ヲ發表シテ以來、H. Lehrs⁽¹⁰⁾(1930)ハA型人唾液免疫ニ依リA型特異性凝集素及ビA型特異性補體結合性抗體ノ產生ヲ證明シ、更ニ該抗血清ハ山羊血球ヲ特異的ニ溶血スル事實ヲ述べ、F. Schiff⁽¹²⁾(1931)モ同様ノ實驗ニヨリ、A型人唾液ト、Schafanteil トノ關係ヲ詳細ニ論ジテキル。

其ノ後、E. Witelsky u. W. Henle⁽⁴³⁾(1933)ハ補體結合反應ニ於テ、抗人唾液免疫家兔血清中ニ、種屬特異性並ビニ人唾液特異性補體結合性抗體ヲ證明シ、人唾液特異性抗原ハ熱ニ對シテ抵抗強イガ、種屬特異性抗原ハ煮沸ニヨリ全ク破壊サレル事等ヲ、抗煮沸人唾液免疫家兔血清及ビ抗人血清免疫家兔血清ト比較シテ述べテキルガ、型的免疫抗體ノ產生ニ就イテハ報告シテ居無イ。

又、上道(清一)、正木(信夫)⁽⁸⁰⁾(1934)ハO型ヲ除ク各型人唾液ノ免疫家兔血清ニ於テ、抗A及ビ抗B凝集素ノ產生ヲ證明シ、更ニ煮沸唾液免疫ニヨリ、種屬特異性凝集素ノ產生ハ殆ンド無ク型的免疫凝集素ノミヲ證明スル事ガ出來ルト述べ、人唾液ニハ、「種屬特異性」「臟器特異性」「型特異性」ノ3特異性ガアル事ヲ明カニシタ。

一方、沈降反應ニ於テハ、1933年 F. Schiff⁽⁸⁰⁾⁽⁸¹⁾ガ始メテ抗A型人血球免疫家兔血清ガ、人血清及ビ人唾液ト型特異的ニ沈降反應ヲ呈シタト報告シテ以來、深尾(立雄)⁽⁸⁷⁾⁽⁸⁸⁾(1935—1937)ハ抗A型又ハB型人血球免疫家兔血清ニ於テ、人血清ニ對シテハ型特異的ニ作用シ無イガ、人唾液ニ對シテ型特異的ニ作用スル抗A並ビニ抗B沈降素ノ證明ニ成功シ、更ニ該抗血清ヲ用ヒテ沈降反應ニヨルA型、B型及ビAB型唾液ノ「排出型」「非排出型」ノ簡便決定法ヲ發表シテ世ノ注目ヲ惹イタ。勝屋(弘彌)⁽⁸²⁾(1937)ハ之レヲ追試證明シ、澤井(豐之助)、加賀谷(勇之助)⁽⁷³⁾(1938)ハ人血球ヲ山羊ニ免疫シ、吉川(克己)⁽⁷⁴⁾(1938)ハ人血球ヲ家鷄ニ免疫シテ、同様人唾液ニ對スル型的沈降素ノ產生ヲ證明シテキルガ、何レモ深尾ト同様 Schiffノ云フ様ナ人血清ニ對スル型的沈降反應ハ認メテ居無イ。

以上ハ人血球免疫ニヨル型的沈降素ノ產生ニ關スルモノデアルガ、人唾液中ノ型的沈降原ノ免疫學的證明ニ關シテハ、吉田(寛一)⁽⁹⁾(1928)、正木(信夫)⁽⁸³⁾(1931)、E. Poulsen⁽⁸⁴⁾(1936)ノ報告ガアルガ、何レモ人唾液免疫ニヨリ、該抗血清中ニ型的沈降素ヲ證明スル事ガ出來無カツタ。就中、正木ハ詳細ナル研究ヲナシ、抗人唾液免疫家兔血清ヲ、抗煮沸人唾液又ハ人血清免疫家兔血清ト比較シテ、種屬特異性沈降原ハ熱ニ對シテ抵抗弱イガ、人唾液特異性沈降原ハ煮沸ニヨツテモ破壊サレ無イト述べ、人唾液ヲ家兔ニ免疫スル事ニヨツテ、種屬特異性並ビニ人唾液特異性沈降素ノ產生ハ證明シ得タガ、型的沈降素ノ產生ハ遂ニ證明出來無カツタト報告シテキル。

⁽⁸⁵⁾⁽⁸⁶⁾余ハ既ニ、1938年1月犯罪學雜誌上ニ於テ、抗A型「排出型」又ハB型「排出型」人唾液免疫家兔血清中ニ、人唾液ニ對スル抗A、抗B沈降素ノ產生ヲ證明シ得タ事ヲ報告シタ。

一方、谷村(吉三)⁽⁸⁷⁾(1938)ハA型膽汁免疫家兔血清ニ於テ抗A沈降素ノ證明ヲナシテ居ルガ、コヽニ於テ液狀型的沈降原ノ免疫學的證明ガ始メテ明瞭トナツタ譯デアル。

以上ヲ要約スレバ、人唾液免疫ニヨル型的免疫抗體ノ產生ハ、型的凝集素、型的補體結合性抗體ニ關スル限り既ニ證明サレテキルガ、型的沈降素ノ產生ニ關シテハ既ニ余ガ1938年1月ソノ大要ノミヲ發表シタ報告以外ニハ未ダ之レヲ見ナイノデアル。

第3章 實驗材料ト實驗方法

1) 唾液採取方法：

血液型既知ノ健康人ヨリ、成ル可ク實驗當日ニ採取シタ。唾液採取ニ際シテ、清水ヲ以テ口中ヲ含嗽サセテ後、自然ニ流出スル唾液ヲ先尖遠心管ニ取ツテ、「ピペット」デ良ク攪拌シ、遠心器ニ掛ケテ得タ清澄透明ナ唾液上清ニ、唾液中ノ型質破壊物質ノ影響ヲ防グタメ、唾液採取直後又ハ1時間以内ニ、唾液全量ノ1/10ノ5%石炭酸食鹽水溶液ヲ每常混和シタ。

動物唾液ノ採取法ハ、牛、馬、豚ニ於テハ自然ニ流出スル唾液ヲ受け取り、家兔、海狸、山羊、犬、猫デハ1%ノ鹽酸ピロカルピン溶液0.3—1.0ccヲ皮下ニ極メテ除メニ注射スル事ニヨリ流出スル唾液ヲ取り、人唾液ノ場合ト同様ニ操作シタ。

2) 免疫唾液：

i) 「排出型」「非排出型」ノ決定ハ、A型、B型、及ビAB型唾液ニ於テハ、深尾氏法ニ從ヒ豫メ作製貯藏シタ型的沈降素血清(抗A型又ハB型人血球免疫家兔血清)ヲ以テナシ、O型唾液ニ於テハ、抗海狸腎臟免疫山羊血清又ハ吉川氏ノ抗O型人血球免疫家兔血清ヲ以テナシタ。

ii) 唾液注射ニ際シテハ、必ズ豫メ、注射唾液ノ被沈降素價ヲ檢シ、「非排出型」唾液ノ場合ハ、唾液稀釋10倍液デ反應陰性、「排出型」唾液ノ場合ハ、被沈降素價80倍以上ナル事ヲ確カメテ後、注射シタ。

iii) 注射量ハ、毎回唾液5ccニ等量ノ生理的食鹽水ヲ混和シ、家兔ノ耳靜脈内ニ2—3日間隔ヲ置イテ6—8回注射シタ。

iv) 唾液ノ煮沸ハ、100°C、1時間、Wasserbadニ於テ爲シタ。

v) 本實驗ニ於テ使用シタ人唾液ハ、免疫用ニモ、檢定用ニモ常ニ同一人ノモノヲ用ヒタ。即チ、OS型ハ(吉×)、Os型ハ(深×)、AS型ハ(越×)、As型ハ(信×)、BS型ハ(寺×)、Bs型ハ(米×)、ABS型ハ(材×)ノ唾液ヲ用ヒ、ABs型ハ略シタ。

3) 使用動物：

i) 家兔、體重2500gr内外ノ健康非妊家兔ヲ用ヒ、豫メ「血清型」ヲ檢査シ、適當ナモノヲ撰ンダ。家鶏、生後1年餘ノ白色レーグホン種ノ成熟牡鶏ヲ用ヒ、豫メ「血清型」ヲ檢査シタ。

ii) 血清型檢査法ハ、免疫前豫メ非働性トナシタ正常血清原液ヲO型人血球ヲ吸着シテ、種屬特異性異種血球凝集素ヲ除去シタ上清ノA型、B型人血球ニ對スル凝集反應ヲ檢シ、A型ノミニ陽性ノモノヲ α' 型、B型ノミニ陽性ノモノヲ β' 型、兩者共ニ陽性ノモノヲ $\alpha'\beta'$ 型、兩者共ニ陰性ノモノヲO型(零型)トシタ。

iii) 免疫家兔ノ撰擇ハ、抗A免疫抗體ヲ得ントスルトキハ α' 型又ハ $\alpha'\beta'$ 型ノ家兔ヲ、抗B免疫抗體ヲ得ントスルトキハ β' 型又ハ $\alpha'\beta'$ 型ノ家兔ヲ撰ンダ。

4) 免疫抗血清：

最後ノ注射日ヨリ7—10日目ニ、家兔耳靜脈ヨリ約20—30ccヲ採血或ハ必要ニ應ジテ家兔頸動脈ヨリ採血シ、室溫ニ於テ血清ヲ分離シ、非働性トセズニ、5%ノ石炭酸食鹽水溶液ヲ1/10全量混和シ、密栓シテ氷室ニ貯藏シタ。

5) 吸着方法：

i) 人血球ニ依ル吸着ノ場合ハ、抗血清ヲ56°Cノ溫浴中ニ30分間加温非働性トナシ、場合ニ應ジテ原

—10倍稀釋液ヲ作り、其ノ一定量ニ等量ノ新鮮ナル10回洗滌沈澱人血球ヲ加ヘ良ク混和シ、「コルク」ニテ密栓シ、37°Cノ孵卵器内ニ2時間放置後、氷室内ニ1夜靜置シテ後、其ノ遠心上清ヲ取ツタ。

ii) 人唾液又ハ人血清ニ依ル吸着ノ場合ハ、抗血清ヲ非働性トセズ、ソノ原液ノ一定量ニ等量ノ人唾液(原液)又ハ人血清(2—10倍稀釋液)ヲ加ヘ、人血球吸着ノ場合ト同様ノ操作ヲナシタ。只コノ際、對照トシテ人唾液又ハ人血清ノ代リニ、1%ノ「アラビヤゴム液」又ハ生理的食鹽水ヲ等量入レテ混和シタモノヲ用ヒタ。

6) 凝集反應検査法：

i) 抗血清ヲ生理的食鹽水ヲ以テ遞減的ニ稀釋シ、之レヲ「ピペット」デ1滴宛連續ホール硝子ノ窩上ニ滴下シ、ソノ上ニ1%ノ人血球浮游液ヲ各々1滴宛滴下混和シ、30分後ニ其ノ凝集反應ヲ室溫(20°C—33°C)デ検査シタ。尙各型血球ノ被凝集素價ヲ一定ニスルタメニ、毎常一定ノ人ヨリ實驗ノ都度新鮮ナ血球浮游液ヲ作ツテ用ヒタ。凝集反應ハ主トシテ肉眼ヲ以テ判定シタガ、反應ノ微弱ナ場合ハ顯微鏡下ニ於テ判定シタ。

ii) 成績ノ記載ハ、凝集反應ノ程度ニヨツテ、(卅)ハ強度、(++)ハ中等度、(+)ハ弱度、(±)ハ肉眼デハ不著明デアルガ顯微鏡下ニ於テ陽性ノモノ、(—)ハ陰性ヲ示ス事ニシタ。

7) 沈降反應検査法：

i) 抗原ガ人唾液ノ場合ハ、唾液型既知ノ健康人ヨリ前記唾液採取法ニ於テ述ベタ如クシテ得タ唾液ヲ用ヒ、人血清ノ場合ハ、當大學ニ於テ Wasserman 氏反應検査ニ使用シタ残りノ血清ヲ貰ヒ受ケテ、其ノ血液型ヲ検査シタ後、同型ノ血清ノミヲ集メテ、之レニ1/10量ノ5%石炭酸食鹽水溶液ヲ加ヘテ密栓シテ氷室ニ保存シタモノヲ用ヒタ。

ii) 抗原ノ稀釋ニハ、0.85%食鹽水ヲ用ヒ、陽性範圍内ノ抗原ノ最高稀釋度ヲ以テ沈降素價(Präzipitintiter)トシタ。而シテ沈降素價測定ニ際シテハ、2—5倍ノ1%「アラビヤゴム液」稀釋抗血清ヲ用ヒタ。

iii) 抗血清ノ稀釋ニハ、1%「アラビヤゴム液」ヲ用ヒ、稀釋抗血清ニ就キ沈降反應陽性ヲ示ス處ノ最高稀釋度ヲ求め、之レヲ沈降素量(Präzipitingehalt)トシタ。

iv) 術式ハ、沈降反應用毛試験管ヲ用ヒ、重層法ニヨリ室溫(20°C—33°C)ニ於テ行ツタ。

v) 成績ノ記載ハ、(卅)ハ重層後15分以内デ陽性ノモノ。(++)ハ30分以内デ陽性ノモノ。(+)ハ1時間目ニ陽性ノモノ。(±)ハ1時間後反應不明瞭ナレド陽性ノモノ。(—)ハ全ク陰性ノモノトシタ。

8) 補體結合反應検査法：

i) 抗原ハ、各型人唾液又ハ各型人血球酒精エキス」ヲ用ヒタ。何レモ自家溶血阻止下量ヲ測定シ使用量ヲ定メタ。

ii) 人血球酒精エキス」ノ作製ハ、數回洗滌シタ血球ニ5倍量ノ無水アルコール」ヲ加ヘ、ヨク振盪シテ37°Cノ孵卵器ニ1週間置キ、其ノ間時々振盪シテ浸出シ、之レヲ濾過紙デ2回濾過シ、其ノ濾液ヲ「シャーレ」ニ容レテ、水浴上デ酒精ヲ蒸發サセテ得タ「リポイド固形物」ニ10倍量ノ生理的食鹽水ヲ加ヘ、ヨク混和シテ乳様液トナシタモノヲ原液トシテ使用シタ。

iii) 抗體ハ、免疫血清ヲ56°C、30分間加温シ、非働性トナシ、豫メ自家溶血阻止下量ヲ測定シ適當稀釋度ニ於テ使用シタ。

iv) 補體ハ、新鮮ナ海獺血清ヲ生理的食鹽水ヲ以テ10倍ニ稀釋シタモノヲ使用シ、常ニ補體價ヲ測定シ使用量ヲ定メタ。

v) 感作血球、山羊血球ヲ以テ家兎ヲ免疫シテ得タ溶血素血清ノ溶血價ヲ測定シ、1000倍以上ノ溶血價

ヲ有スルモノヲ撰ビ、2.5%ノ山羊血球浮游液ヲ4單位ノ溶血素ヲ以テ感作シテ使用シタ。

vi) 術式ハ、普通法(Kolmer氏法)、抗血清ヲ1列ノ小試験管ニ生理的食鹽水ヲ以テ、0.25ccヅツ遞減的ニ稀釋シテ入レ、之レニ適當度稀釋ノ抗原及ビ補體(使用量)0.25ccヅツ加ヘ、37°Cノ孵卵器中ニ時々振盪シナガラ1時間置キ、次イデ感作血球0.5cc宛加ヘ、更ニ37°Cノ孵卵器中ニ1時間置キ、後直チニ成績ヲ檢査シ、更ニ1夜氷室ニ放置シテ後、其ノ成績ヲ確メタ。

vii) 成績ノ記載ハ、kハ完全溶血、fkハ殆ソド完全溶血、mハ中等度溶血、swハ弱度溶血、spハ痕跡溶血、oハ溶血陰性トシタ。而シテ溶血陰性ヲ呈スル抗血清ノ最高稀釋度ヲ以テ、該抗血清ノ補體結合素價トシタ。

第4章 抗人唾液免疫家兔血清ニ於ケル人血球凝集反應

第1節 抗生各型「排出型」唾液免疫家兔血清ニ於ケル凝集反應

第1項 抗生AS型唾液免疫家兔血清ニ就イテ

第1表ニ示ス如ク、AS型唾液ヲ6頭ノ家兔ニ免疫シ、該抗血清ノ各型人血球ニ對スル凝集反應ヲ見ルニ、

第1表 抗生AS型唾液免疫家兔血清ノ各型人血球ニ對スル凝集反應

家兔ノ番號	血清型	作用血球	免疫前		免疫後																					
			血清稀釋倍數																							
			一	二	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	一	二	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	六四〇	一二八〇	二五六〇	五一二〇	一〇二四〇	二〇四八〇	四〇九六〇
Nr. 81	α'	O	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		A	+++	+++	+++	++	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		B	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		AB	+++	+++	+++	++	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
Nr. 89	α'β'	O	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		A	+++	+++	++	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		B	±	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		AB	+++	+++	++	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
Nr. 90	α'β'	O	++	+	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		A	+++	+++	++	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		B	+++	+++	++	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		AB	+++	+++	++	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
Nr.205	α'β'	O	±	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		A	+++	+++	++	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		B	++	+	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		AB	+++	+++	++	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
Nr.185	α'	O	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		A	++	+	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		B	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		AB	++	+	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
Nr. 66	α'β'	O	++	+	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		A	++	+	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		B	++	+	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		AB	++	+	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

第2項 抗生BS型唾液免疫家兔血清ニ就イテ

5頭ノ家兔ニBS型唾液ヲ免疫シタガ, 5例トモニ, AS型唾液免疫ノ場合程デハ無イガ, B型, AB型血球ニ對スル凝集素價ハ免疫前ニ比シテ上昇シテキル(凝集素價40—320倍). 更ニ各型人血球デ吸着試験ヲ爲シ, 抗B免疫凝集素ノ產生ヲ確認スル事ガ出來ル(第3表)(第4表).

第3表 抗生BS型唾液免疫家兔血清ノ各型人血球ニ對スル凝集反應

家兔ノ番號	血清型	作用血球	免 疫 前							免 疫 後								
			血 清 稀 釋 度															
			一	二	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一	二	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇
Nr. 87	α'β'	O	+	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	
		A	++	+	±	-	-	-	-	+++	++	+	±	-	-	-	-	
		B	+++	++	+	+	-	-	-	+++	++	+	+	+	±	-	-	
		AB	+++	++	+	+	-	-	-	+++	++	+	+	+	±	-	-	
Nr.163	β'	O	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		B	±	-	-	-	-	-	-	+++	++	+	+	±	-	-	-	
		AB	±	-	-	-	-	-	-	+++	++	+	+	±	-	-	-	
Nr.170	α'β'	O	+++	++	+	-	-	-	-	+++	++	±	-	-	-	-	-	
		A	+++	++	+	-	-	-	-	+++	++	±	-	-	-	-	-	
		B	±	-	-	-	-	-	-	+++	++	+	+	+	-	-	-	
		AB	+++	++	+	-	-	-	-	+++	++	+	+	+	-	-	-	
Nr.190	α'β'	O	+++	++	+	±	-	-	-	+++	++	+	+	-	-	-	-	
		A	+++	++	+	±	-	-	-	+++	++	+	+	±	-	-	-	
		B	+++	++	±	-	-	-	-	+++	++	+	+	+	+	±	-	-
		AB	+++	++	+	±	-	-	-	+++	++	+	+	+	+	±	-	-
Nr.171	α'β'	O	++	+	-	-	-	-	-	++	±	-	-	-	-	-	-	
		A	+++	++	±	-	-	-	-	+++	++	±	-	-	-	-	-	
		B	++	±	-	-	-	-	-	+++	++	+	+	-	-	-	-	-
		AB	+++	++	±	-	-	-	-	+++	++	+	+	+	-	-	-	-

第4表 抗生BS型唾液免疫家兔血清ノ各型人血球ニ對スル凝集反應並ビニ各型人血球ニ依ル吸着試驗

抗血清番號 ノ 家兔血清	Nr. 87					Nr. 163					Nr. 170					Nr. 190					Nr. 171				
	α/β'					β'					α/β'					α/β'					α/β'				
	10	20	40	80	160	10	20	40	80	160	10	20	40	80	160	10	20	40	80	160	10	20	40	80	160
作血	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
用球	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
處置	O	A	B	AB		O	A	B	AB		O	A	B	AB		O	A	B	AB		O	A	B	AB	
前																									
吸着																									
血																									
球																									
免																									
疫																									
前																									

第3項 抗生ABS型人液免疫家兔血清ニ就イテ

ABS型唾液免疫ハ2頭ノ家兔ニ試ミタガ、ソノ内、Nr. 192ノ1例ニ於テ、該抗血清中ニ抗A及ビ抗B免疫凝集素ノ產生ヲ證明シタガ(凝集素價1280—10240倍) Nr. 186ハ免疫前ニ比シ抗A及ビ抗B免疫凝集素ノ僅カノ上昇ヲ見ルニ過ギナカツタ(第5表)(第6表)。

第5表 抗生ABS型唾液免疫家兎血清ノ各型人血球ニ對スル凝集反應

家兎ノ番號	血清型	作用血球	免 疫 前												免 疫 後															
			血 清 稀 釋 度																											
			一	二	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	六四〇	一	二	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	六四〇	一	二	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇
Nr.186	α'β'	O	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
		A	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++
		B	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++
		AB	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++
Nr.192	α'β'	O	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
		A	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++
		B	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++
		AB	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++

第6表 抗生ABS型唾液免疫家兎血清ノ各型人血球ニ對スル凝集反應並ビニ各型人血球ニヨル吸着試験

抗血清番號		Nr. 186												Nr. 192															
家兎ノ血清型		α'β'												α'β'															
處 置	作用人血球	抗 血 清 稀 釋 度																											
		一	二	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	六四〇	一	二	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	六四〇	一	二	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇
前	O	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
	A	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++
	B	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++
	AB	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++
吸 着	O																												
	A																												
	B																												
	AB																												
血 球	O																												
	A	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++
	B	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++
	AB	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++
		免 疫 前																											
O	O	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
	A	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++
	B	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++
	AB	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++

第2節 抗生「非排出型」唾液免疫家兔血清ニ於ル凝集反應

As 型唾液免疫ニハ 4 頭, Bs 型唾液免疫ニハ 2 頭ノ家兔ヲ用ヒタガ, 何レノ場合モ抗 A 又ハ抗 B 免疫凝集素ノ產生ヲ證明出來ナカツタ(第7表)(第8表).

第7表 抗生 As 型又ハ Bs 型唾液免疫家兔血清ノ各型
人血球ニ對スル凝集反應

免疫唾液	家兔ノ番號	血清型	作用血球	免疫前						免疫後										
				血清稀釋度																
				一	二	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一	二	五	一〇	二〇	四〇	八〇			
As 型	Nr.157	α'	O	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			A	+++	+++	++	+	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			B	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			AB	+++	+++	++	+	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	Nr.179	α'β'	O	+	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			A	++	+	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			B	+	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			AB	++	+	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	Nr.198	α'β'	O	+	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			A	+++	++	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			B	+	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			AB	+++	++	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Nr.202	α'β'	O	+	+	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
		A	++	+	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
		B	+	+	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		AB	++	+	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
Bs 型	Nr.152	α'β'	O	+	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			A	++	+	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			B	+++	+++	++	+	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			AB	+++	+++	++	+	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	Nr.154	α'β'	O	+++	+++	++	+	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			A	+++	+++	++	+	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			B	+++	+++	++	+	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			AB	+++	+++	++	+	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第3節 抗O型唾液免疫家兔血清ニ於ケル凝集反應

OS型唾液免疫デハ4頭, Os型唾液免疫ニモ4頭ノ家兔ヲ用ヒタガ, 其ノ内ノ各2例ヅツハ, 唾液中ノ種屬特異性物質ヲ除去スルタメニ, 煮沸シタ唾液ヲ以テ免疫シ, 他ノ2例ヅツハ生唾液ヲ以テ免疫シタ.

以上8例中, 何レモ該抗血清中ニ型的免疫凝集素ノ反應ト思ハレルモノハ認メ無カツタ.

第9表 抗生(又ハ煮沸)O型唾液免疫家兔血清ノ各型人血球ニ對スル凝集反應

免疫唾液	家兔ノ番號	血清型	作用血球	免疫前		免疫後													
				血清稀釋度															
				一	二	五	一〇	二〇	四〇	一	二	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	六四〇
OS型	Nr. 197	o	O	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			A	-	-	-	-	-	-	+	+	±	-	-	-	-	-		
			B	-	-	-	-	-	-	+	+	±	-	-	-	-	-	-	
			AB	-	-	-	-	-	-	+	+	±	-	-	-	-	-	-	
	Nr. 206	α'β'	O	±	-	-	-	-	+	+	+	+	±	-	-	-	-		
			A	+++	++	+	±	-	+++	++	+	±	-	-	-	-	-	-	
			B	+++	++	+	±	-	+++	++	+	±	-	-	-	-	-	-	
			AB	+++	++	+	±	-	+++	++	+	±	-	-	-	-	-	-	
Nr. 221 (Kochen)	α'	O	+	±	-	-	-	+	+	±	-	-	-	-	-	-			
		A	+	+	±	-	-	+	+	±	-	-	-	-	-	-	-		
		B	+	±	-	-	-	+	±	-	-	-	-	-	-	-	-		
		AB	+	±	±	-	-	+	±	±	-	-	-	-	-	-	-		
Nr. 225 (Kochen)	α'	O	-	-	-	-	-	+	±	-	-	-	-	-	-	-			
		A	++	++	+	±	-	+	±	-	-	-	-	-	-	-	-		
		B	-	-	-	-	-	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		AB	++	++	+	±	-	+	±	-	-	-	-	-	-	-	-		
Os型	Nr. 204	o	O	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			A	-	-	-	-	-	-	+	+	±	-	-	-	-	-	-	
			B	-	-	-	-	-	-	+	+	±	-	-	-	-	-	-	
			AB	-	-	-	-	-	-	+	+	±	-	-	-	-	-	-	
	Nr. 211	α'β'	O	+++	++	+	±	-	+++	++	++	++	++	++	++	++	±	-	
			A	+++	++	++	+	±	-	+++	++	++	++	++	++	++	++	±	-
			B	+++	++	++	+	±	-	+++	++	++	++	++	++	++	++	±	-
			AB	+++	++	++	+	±	-	+++	++	++	++	++	++	++	++	±	-
Nr. 227 (Kochen)	α'	O	-	-	-	-	-	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		A	+	±	-	-	-	+	±	-	-	-	-	-	-	-	-		
		B	-	-	-	-	-	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		AB	+	-	-	-	-	+	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
Nr. 228 (Kochen)	α'	O	±	-	-	-	-	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		A	++	++	+	±	-	++	++	+	±	-	-	-	-	-	-		
		B	±	-	-	-	-	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		AB	++	++	+	±	-	++	++	+	±	-	-	-	-	-	-	-	

(Kochen)ハ煮沸唾液免疫血清ヲ表ハス.

第10表 抗生(又ハ煮沸) O 型唾液免疫家兔血清ノ各型人血球ニ對スル凝集反應並ビニ各型人血球ニ依ル吸着試験

免疫唾液	OS 型																Os 型																																											
	Nr. 197				Nr. 206				Nr. 221 (Kochén)				Nr. 225 (Kochén)				Nr. 204				Nr. 211				Nr. 227 (Kochén)				Nr. 228 (Kochén)																															
	o				α'/β'				α'				α'				o				α'/β'				α'				α'																															
處置前	抗血血清稀釋倍數																																																											
	用球		一	二	五	一〇	二〇	四〇	一〇〇	一		二	五	一〇	二〇	四〇	一〇〇	一		二	五	一〇	二〇	四〇	一〇〇	一		二	五	一〇	二〇	四〇	一〇〇	一		二	五	一〇	二〇	四〇	一〇〇	一		二	五	一〇	二〇	四〇	一〇〇											
前	O	+	+	+	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+													
	A	+	+	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+									
	B	+	+	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+							
	AB	+	+	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+					
吸着血球	O	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
	A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
	B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
	AB	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
前	O	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
	A	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+			
	B	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
	AB	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+

特ニ煮沸唾液免疫ノ場合ハ、免疫前トシテソノ凝集素質ニ於テ變化ハ無カツタ。(第9表)
(第10表).

第4節 抗煮沸各型「排出型」唾液免疫家兎血清ニ於ケル凝集反應

第1項 抗煮沸 AS 型唾液免疫家兎血清ニ就イテ

煮沸 AS 型唾液ヲ 8 頭ノ家兎ニ免疫シタ、其ノ内、第11表ニ示ス如ク、Nr. 216, Nr. 249, Nr. 252 ノ 3 例ニ於テ、著シイ抗 A 免疫凝集素價ノ上昇(凝集素價 5120—40960 倍)ヲ見ル。而シテコノ場合注目スベキ事ハ、O 型及ビ B 型血球ニ對スル種屬特異性凝集素ノ產生ガ、免

第11表 抗煮沸 AS 型唾液免疫家兎血清ノ各型人血球ニ對スル凝集反應

家兎ノ番號	血清型	作用血球	免疫前		免疫後																		
			血清						稀釋倍數														
			一	二	五	一〇	二〇	六〇	一	二	五	一〇	二〇	六〇	一六〇	三六〇	六六〇	一五六〇	三三六〇	六九六〇	一三九六〇		
Nr.216	α'	O	-	-	-	-	-	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		A	++	+	±	-	-	-	+++	++	+	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		B	-	-	-	-	-	-	+++	++	+	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		AB	++	+	-	-	-	-	+++	++	+	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Nr.249	α'/β'	O	++	+	±	-	-	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		A	+++	++	+	±	-	-	+++	++	+	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		B	+++	++	+	±	-	-	+++	++	+	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		AB	+++	++	+	±	-	-	+++	++	+	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Nr.252	α'	O	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		A	+++	++	+	±	-	-	+++	++	+	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		B	-	-	-	-	-	-	+++	++	+	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		AB	+++	++	+	±	-	-	+++	++	+	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Nr.220	α'	O	±	-	-	-	-	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		A	+++	++	+	±	-	-	+++	++	+	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		AB	+++	++	+	±	-	-	+++	++	+	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Nr.231	α'	O	+++	++	+	±	-	-	+++	++	+	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		A	+++	++	+	±	-	-	+++	++	+	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		B	±	-	-	-	-	-	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		AB	+++	++	+	±	-	-	+++	++	+	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Nr.222	α'	O	+++	++	+	±	-	-	+++	++	+	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		A	+++	++	+	±	-	-	+++	++	+	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		B	±	-	-	-	-	-	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		AB	+++	++	+	±	-	-	+++	++	+	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Nr.230	β'	O	-	-	-	-	-	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		A	++	+	-	-	-	-	+++	++	+	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		B	-	-	-	-	-	-	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		AB	++	+	-	-	-	-	+++	++	+	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Nr.233	α'/β'	O	-	-	-	-	-	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		A	+++	++	+	±	-	-	+++	++	+	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		B	+	-	-	-	-	-	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		AB	+++	++	+	±	-	-	+++	++	+	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疫前ト比較シテ殆ソド無イ事デアル。即チ唾液ヲ煮沸スル事ニヨリ，唾液中ノ種屬特異性凝集原ハ全ク破壊セラレルニ拘ラズ，型的凝集原ハ何ラソノ影響ヲ受ケ無イ事ヲ示スモノデア
ル。

ナホ第12表(其1)(其2)ニ示ス如ク，各型人血球ニヨル吸着試験ニ於テモ，以上3例ノ抗
A 免疫凝集素ノ產生ハ明確デアル。

第12表(其1) 抗煮沸AS型唾液免疫家兔血清ノ各型人血球ニ對スル凝集反應並ビニ各型人血球ニヨル吸着試験

抗血清番號 家兔ノ血清型	Nr. 216												Nr. 249												Nr. 252																	
	α'						α/β'						α'						α/β'						α'																	
	抗血						清						稀						釋						數																	
作用血球	1	2	5	10	15	100	1	2	5	10	15	100	1	2	5	10	15	100	1	2	5	10	15	100	1	2	5	10	15	100	1	2	5	10	15	100						
處置前	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+						
吸着血球	O	A	B	AB	O	A	B	AB	O	A	B	AB	O	A	B	AB	O	A	B	AB	O	A	B	AB	O	A	B	AB	O	A	B	AB	O	A	B	AB	O	A	B	AB		
免	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
疫	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
前	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+

而シテ他ノ5例ニ於テハ生AS型唾液免疫ニ當ツテモ見ラレタ例ノ如ク免疫前ニ比シ、抗A凝集素ノ產生シテキルト思ハレルモノハ無カツタ、即チ1回免疫ダケノ場合ニハ α' 、又ハ $\alpha'\beta'$ 型ノ家兔ニ於テスラモ抗A凝集素ノ產生ガ證明サレナイモノガ有ルコトハ注目スベキ事デ血清型以外ニ更ニ有力ナ體質ガ有スル事ヲ物語ツテキルモノト云ヘヨウ。

第12表(其2) 抗煮沸AS型唾液免疫家兔血清ノ各型人血球ニ對スル凝集反應並ビニ各型人血球ニヨル吸着試験

抗血清番號		Nr. 220	Nr. 231	Nr. 222	Nr. 230	Nr. 233																																														
家兔血清ノ型		α'					$\alpha'\beta'$																																													
處置前	作血	抗血清稀釋倍數																																																		
	用球	一	二	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	一	二	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	一	二	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	一	二	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇																			
前	O	±	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
	A	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+++	+++	±	-	-	-	-	-	-	-				
	B	-	-	-	-	-	-	-	-	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	±	-	-	-	-	-	-	-	-			
	AB	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-		
吸着血球	O	O	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		A	++	+	+	±	-	-	-	-	++	++	++	+	±	-	-	-	-	-	-	-	++	++	++	++	+	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	
		B	++	++	++	±	-	-	-	-	++	++	++	++	+	±	-	-	-	-	-	-	++	++	++	++	++	+	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	++	++	±	-	-	-	-	-	-	-
		AB	++	++	++	±	-	-	-	-	++	++	++	++	+	±	-	-	-	-	-	-	++	++	++	++	++	+	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	++	++	±	-	-	-	-	-	-	-
	A	O	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		AB	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	B	O	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		A	++	++	++	±	-	-	-	-	++	++	++	++	+	±	-	-	-	-	-	-	++	++	++	++	++	+	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	++	++	±	-	-	-	-	-	-	-
		B	++	++	++	±	-	-	-	-	++	++	++	++	++	+	±	-	-	-	-	-	++	++	++	++	++	++	+	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	++	++	±	-	-	-	-	-	-	-
		AB	++	++	++	±	-	-	-	-	++	++	++	++	++	+	±	-	-	-	-	-	++	++	++	++	++	++	++	+	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	++	++	±	-	-	-	-	-	-	-
AB	O	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	AB	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
O	O	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	A	++	++	++	±	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+	±	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	±	-	-	-	-	-	-	-	
	B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	AB	++	++	++	±	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+	±	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	±	-	-	-	-	-	-	-	

第2項 抗煮沸 BS 型唾液免疫家兎血清 = 就イテ

煮沸 BS 型唾液ヲ 6 頭ノ家兎ニ免疫シタガ、ソノ内、Nr. 72, Nr. 239, Nr. 253, Nr. 226, Nr. 217 ノ 5 例ニ於テ、抗 B 免疫凝集素ノ産生ヲ見ル、即チ抗 A 免疫凝集素ノ如ク高價ナモノハ得ラレナカッタガ、免疫前ノ O 型人血球吸着後ノ凝集素價 5—10 倍ニ比シ、80—1280 倍ノ上昇ヲ見タ。而シテ、Nr. 229 ノ 1 例ニ於テハ、抗 B 免疫凝集素ノ産生ヲ證明スル事ガ出来無カッタ(第13表)(第14表)。

第13表 抗煮沸 BS 型唾液免疫家兎血清ノ各型人血球ニ對スル凝集反應

家兎ノ番號	血清型	作用血球	免疫前		免疫後													
			血清稀釋倍數															
			一	二	五	一〇	二〇	四〇	一	二	五	一〇	二〇	四〇	一〇〇	二〇〇	四〇〇	一〇〇〇
Nr. 72	α'β'	O	++	+	-	-	-	-	++	+	±	-	-	-	-	-	-	-
		A	+++	++	+	±	-	-	+++	++	++	++	++	±	-	-	-	-
		B	++	+	±	-	-	-	+++	++	++	++	++	±	-	-	-	-
		AB	+++	++	+	±	-	-	+++	++	++	++	++	±	-	-	-	-
Nr. 239	α'β'	O	-	-	-	-	-	±	±	-	-	-	-	-	-	-	-	
		A	+++	++	++	++	+	-	+++	++	++	++	++	++	±	-	-	-
		B	++	+	±	-	-	-	+++	++	++	++	++	++	++	±	-	-
		AB	+++	++	++	++	+	-	+++	++	++	++	++	++	±	-	-	-
Nr. 253	α'β'	O	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		A	++	+	±	-	-	-	+++	++	++	++	++	±	-	-	-	-
		B	++	+	-	-	-	-	+++	++	++	++	++	++	±	-	-	-
		AB	++	+	±	-	-	-	+++	++	++	++	++	++	±	-	-	-
Nr. 226	α'β'	O	+	-	-	-	-	++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	
		A	+++	++	++	++	+	-	+++	++	++	++	++	++	±	-	-	-
		B	+	-	-	-	-	-	+++	++	++	++	++	++	++	±	-	-
		AB	+++	++	++	++	+	-	+++	++	++	++	++	++	±	-	-	-
Nr. 229	α'β'	O	++	++	++	+	-	-	++	++	++	±	-	-	-	-	-	
		A	+++	++	++	++	+	-	+++	++	++	++	++	±	-	-	-	
		B	+++	++	++	++	+	-	+++	++	++	++	++	++	±	-	-	-
		AB	+++	++	++	++	+	-	+++	++	++	++	++	++	±	-	-	-
Nr. 217	α'β'	O	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		A	++	±	-	-	-	-	++	++	±	-	-	-	-	-	-	-
		B	++	++	±	-	-	-	+++	++	++	++	++	±	-	-	-	-
		AB	++	++	±	-	-	-	+++	++	++	++	++	±	-	-	-	-

第3項 抗煮沸 ABS 型唾液免疫家兎血清 = 就イテ

煮沸 ABS 型唾液ヲ 2 頭ノ家兎ニ免疫シタガ、Nr. 223 ニ於テハ、抗 B 免疫凝集素ノミヲ(凝集素價10240倍)、Nr. 224 ニ於テハ抗 A 及ビ抗 B 免疫凝集素ノ兩者ヲ證明シ得タ(凝集素價1280—40960倍)(第15表)(第16表)。

第15表 抗煮沸ABS型唾液免疫家兔血清ノ各型人血球ニ對スル凝集反應

家兔ノ番號	血清型	作用血球	免疫前										免疫後														
			血清稀釋倍數																								
			一	二	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	一	二	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	六四〇	一二八〇	二五六〇	五一二〇	一〇二四〇	二〇四八〇	四〇九六〇	八一九一〇
Nr.223	α/β'	O	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		A	++	+	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		B	+	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		AB	++	+	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Nr.224	α/β'	O	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		A	+++	++	+	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		B	++	+	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		AB	+++	++	+	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第16表 抗煮沸ABS型唾液免疫家兔血清ノ各型人血球ニ對スル凝集反應並ビニ各型人血球ニ依ル吸着試験

抗血清番號		Nr. 233										Nr. 224																		
家兔血清ノ型		α/β'										α/β'																		
處置	作用血球	抗血清稀釋倍數																												
		一	二	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	六四〇	一二八〇	二五六〇	五一二〇	一〇二四〇	二〇四八〇	一	二	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	六四〇	一二八〇	二〇四八〇	四〇九六〇	八一九一〇
前	O	+	+	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	A	++	+	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	B	+++	++	+	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	AB	+++	++	+	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
吸着	O	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	A	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	B	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	AB	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
球	O	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	A	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	B	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	AB	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
免	O	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	A	++	+	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	B	+	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	AB	++	+	±	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第5章 抗人唾液免疫家兔血清ニ於ケル沈降反應

抗生人唾液免疫家兔血清中ニ於ケル型の沈降素ヲ證明スルニ先ダチ、該抗血清中ニ、同時ニ產生サレテキルト思ハレル種屬特異性沈降素及ビ人唾液特異性沈降素(臟器特異性沈降素)ノ證明ヲ試ミ、若シ存在スルナラバ、之等ヲ除去スル必要ガアル。

第1節 正常家兔血清ノ人唾液及ビ人血清ニ對スル沈降反應

人唾液免疫ニ先ダチ、使用セントスル正常家兔血清ガ人唾液及ビ人血清ニ對シテ沈降反應ヲ呈スルヤ否ヤヲ檢シタ。

第17表ニ示ス如ク、免疫ニ使用シタ38例ノ正常家兔血清ノ人唾液ニ對スル沈降反應ハ沈降素價0—1倍、沈降素量0—2倍ヲ示シ、家兔正常血清中ノアルモノハ人唾液ト作用スル正常抗人唾液沈降素ヲ有スル事ヲ證明シ得ルガ、該反應ハ人唾液ノ型及ビ家兔ノ「血清型」トハ何ヲ關係ナク不規則ナモノデアアル。而シテ之等ノ内、反應陽性ヲ呈シタモノヲO型人血球デ吸着後上清ハ最早何レノ型ノ唾液トモ反應セズ、即チ型的正常沈降素ハ證明出來無カツタ(表略)。

又之等ノ正常血清ノ各型人血清ニ對スル沈降反應ハ凡テ陰性ヲ呈シタ(表略)。

第17表 正常家兔血清ノ「血清型」並ビニ各型人唾液ニ對スル沈降素價及ビ沈降素量 (其 1)

家兔番號	Nr. 81	Nr. 89	Nr. 66	Nr. 90	Nr. 185	Nr. 205	Nr. 87	Nr. 190	Nr. 61	Nr. 163																			
血清型	α'	α'β'	α'β'	α'β'	α'	α'	α'β'	α'β'	α'β'	β'																			
沈降素量	0	1	0	2	0	0	1	1	1	1																			
唾給液者 液型	人 唾 液 稀 釋 倍 數																												
	1	2	4	K	1	2	4	K	1	2	4	K	1	2	4	K	1	2	4	K	1	2	4	K	1	2	4	K	
吉×	OS	—	—	—	—	++	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
深×	Os	—	—	—	—	++	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
越×	AS	—	—	—	—	++	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
信×	As	—	—	—	—	++	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
寺×	BS	—	—	—	—	++	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
米×	Bs	—	—	—	—	++	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
材×	ABS	—	—	—	—	++	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(其 2)

家兎番號		Nr. 171	Nr. 88	Nr. 192	Nr. 186	Nr. 157	Nr. 179	Nr. 198	Nr. 202	Nr. 152	Nr. 154																														
血清型		α'/β'	α'/β'	α'/β'	α'/β'	α'	α'/β'	α'/β'	α'/β'	α'/β'	α'/β'																														
沈降素量		0	1	1	0	0	0	0	1	1	0																														
唾給液者供名	唾ノ液型	人 唾 液 稀 釋 倍 數																																							
		1	2	4	K	1	2	4	K	1	2	4	K	1	2	4	K	1	2	4	K	1	2	4	K	1	2	4	K	1	2	4	K								
吉×	OS	-	-	-	-	++	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	++	-	-	-	-	-	-	-
深×	Os	-	-	-	-	++	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	++	-	-	-	-	-	-	-
越×	AS	-	-	-	-	++	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	++	-	-	-	-	-	-	-
信×	As	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	++	-	-	-	-	-	-	-
寺×	BS	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	++	-	-	-	-	-	-	-
米×	Bs	-	-	-	-	++	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	++	-	-	-	-	-	-	-
材×	ABS	-	-	-	-	++	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	++	-	-	-	-	-	-	-

(其 3)

家兎番號		Nr. 197	Nr. 206	Nr. 204	Nr. 211	Nr. 216	Nr. 222	Nr. 231	Nr. 220	Nr. 229	Nr. 226																														
血清型		o	α'/β'	o	α'/β'	α'	α'	α'	α'	α'/β'	α'/β'																														
沈降素量		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0																														
唾給液者供名	唾ノ液型	人 唾 液 稀 釋 倍 數																																							
		1	2	4	K	1	2	4	K	1	2	4	K	1	2	4	K	1	2	4	K	1	2	4	K	1	2	4	K	1	2	4	K								
吉×	OS	-	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
深×	Os	-	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
越×	AS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
信×	As	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
寺×	BS	-	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
米×	Bs	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
材×	ABS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(其 4)

家兎番號		Nr. 217	Nr. 235	Nr. 223	Nr. 224	Nr. 221	Nr. 225	Nr. 227	Nr. 228																																
血清型		α'/β'	α'/β'	α'/β'	α'/β'	α'	α'	α'	α'																																
沈降素量		0	1	0	1	0	0	1	0																																
唾給液者供名	唾ノ液型	人 唾 液 稀 釋 倍 數																																							
		1	2	4	K	1	2	4	K	1	2	4	K	1	2	4	K	1	2	4	K	1	2	4	K	1	2	4	K												
吉×	OS	-	-	-	-	++	-	-	-	-	-	-	-	++	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
深×	Os	-	-	-	-	++	-	-	-	-	-	-	-	++	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
越×	AS	-	-	-	-	++	-	-	-	-	-	-	-	++	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	++	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
信×	As	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
寺×	BS	-	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	++	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
米×	Bs	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	++	-	-	-	-	-	-	-
材×	ABS	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	++	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	++	-	-	-	-	-	-	-

第19表 抗生 BS 型唾液免疫家兔血清ノ各型人血清ニ對スル沈降素價並ビニ沈降素量

抗血清番號		Nr. 87							Nr. 170							Nr. 61							
家兔ノ血清型		α'β'							α'β'							α'β'							
抗稀 血釋 清度	作用ノ 用ノ 人血液	人 血 清 稀 釋 倍 數																					
		0	100	1000	10000	100000	1000000	K	0	100	1000	10000	100000	1000000	K	0	100	1000	10000	100000	1000000	K	
1: 2	O	+++	+++	+	-	-	-	-	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	+++	+++	+++	+	-	-	-
	A	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	+++	+++	+++	+	-	-	-
	B	+++	+++	+++	++	-	-	-	+++	+++	+++	++	+	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+	-	-
	AB	+++	+++	+++	++	-	-	-	+++	+++	+++	++	+	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+	-	-
1: 5	O	+	++	+	-	-	-	-	+	+	+	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+	-	-	-
	A	+	++	-	-	-	-	-	++	++	+	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+	-	-	-
	B	+	++	+	-	-	-	-	++	++	+	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+	-	-
	AB	+	++	+	-	-	-	-	++	++	+	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+	-	-
1:10	O	-	+	-	-	-	-	-	+	+	+	-	-	-	-	-	+++	+++	-	-	-	-	-
	A	-	+	-	-	-	-	-	+	+	+	-	-	-	-	-	+++	+++	+	-	-	-	-
	B	-	+	-	-	-	-	-	+	+	+	-	-	-	-	-	+++	+++	+	-	-	-	-
	AB	-	+	-	-	-	-	-	+	+	+	-	-	-	-	-	+++	+++	+	-	-	-	-
1:20	O	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	++	++	-	-	-	-	-
	A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	++	++	-	-	-	-	-
	B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	++	++	-	-	-	-	-
	AB	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	++	++	-	-	-	-	-
1:40	O	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	-	-	-	-	-
	A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	-	-	-	-	-
	B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-
	AB	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-

第20表 抗生 ABS 型唾液免疫家兔血清ノ各型人血清ニ對スル沈降素價並ビニ沈降素量

抗血清番號		Nr. 192							Nr. 186														
家兔ノ血清型		α'β'							α'β'														
抗稀 血釋 清度	作用ノ 用ノ 人血液	人 血 清 稀 釋 倍 數																					
		0	100	1000	10000	100000	1000000	K	0	100	1000	10000	100000	1000000	K	0	100	1000	10000	100000	1000000	K	
1: 2	O	+++	+++	+++	++	-	-	-	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	+++	+++	+++	+	-	-	-
	A	+++	+++	+++	++	-	-	-	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	+++	+++	+++	+	-	-	-
	B	+++	+++	+++	++	-	-	-	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	+++	+++	+++	+	-	-	-
	AB	+++	+++	+++	++	-	-	-	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	+++	+++	+++	+	-	-	-
1: 5	O	-	+++	++	+	-	-	-	+	++	+++	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+	-	-	-
	A	-	+++	++	-	-	-	-	-	++	+++	+	-	-	-	-	+++	+++	+++	+	-	-	-
	B	-	+++	+++	+	-	-	-	-	+	+++	+	-	-	-	-	+++	+++	+++	+	-	-	-
	AB	-	+++	+++	-	-	-	-	-	++	+++	+	-	-	-	-	+++	+++	+++	+	-	-	-
1:10	O	-	++	+	-	-	-	-	+	++	+	-	-	-	-	-	+++	+++	-	-	-	-	-
	A	-	++	+	-	-	-	-	+	++	+	-	-	-	-	-	+++	+++	+	-	-	-	-
	B	-	++	+	-	-	-	-	-	++	+	-	-	-	-	-	+++	+++	+	-	-	-	-
	AB	-	++	+	-	-	-	-	-	++	+	-	-	-	-	-	+++	+++	+	-	-	-	-
1:20	O	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	AB	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第22表 抗生 OS 型又ハ Os 型免疫家兎血清ノ各型人血清ニ
對スル沈降素價並ビニ沈降素量

免疫唾液		OS 型										Os 型																				
抗血清番號		Nr. 197					Nr. 206					Nr. 204					Nr. 211															
家兎ノ血清ノ型		o					α'β'					o					α'β'															
抗稀釋血清ノ清度	作清型用ノ血液	人 血 清 稀 釋 倍 數																														
		10	100	1000	10000	100000	1000000	K	10	100	1000	10000	100000	1000000	K	10	100	1000	10000	100000	1000000	K	10	100	1000	10000	100000	1000000	K			
1: 2	O	+++	+++	+++	+	-	-	-	+++	+++	+++	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-
	A	+++	+++	+++	+	-	-	-	+++	+++	+	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+	+	-	-	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-
	B	+++	+++	+++	+	-	-	-	+++	+++	+	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+	+	-	-	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-
	AB	+++	+++	+++	-	-	-	-	+++	+++	+	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-
1: 5	O	+++	+++	+++	+++	+	-	-	+++	+++	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	+++	+++	+++	+++	-	-	-	-
	A	+++	+++	+++	+++	+	-	-	+++	+++	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	+++	+++	+++	+++	-	-	-	-
	B	+++	+++	+++	+++	+	-	-	+++	+++	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	+++	+++	+++	+++	-	-	-	-
	AB	+++	+++	+++	+++	+	-	-	+++	+++	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	-	-	-	-
1:10	O	+++	+++	+++	-	-	-	-	+++	+++	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	+++	+++	+++	+++	-	-	-	-
	A	+++	+++	+++	+	-	-	-	+++	+++	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	+++	+++	+++	+++	-	-	-	-
	B	+++	+++	+++	+	-	-	-	+++	+++	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	+++	+++	+++	+++	-	-	-	-
	AB	+++	+++	+++	+	-	-	-	+++	+++	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	+++	+++	+++	+++	-	-	-	-
1:20	O	-	-	-	-	-	-	-	+	+++	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+	-	-	-	-	
	A	-	-	-	-	-	-	-	+	+++	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+	-	-	-	-	
	B	-	-	-	-	-	-	-	+	+++	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+	-	-	-	-	
	AB	-	-	-	-	-	-	-	+	+++	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+	-	-	-	-	
1:40	O	-	-	-	-	-	-	-	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	A	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	B	-	-	-	-	-	-	-	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	AB	-	-	-	-	-	-	-	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1:80	O	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	AB	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

第23表 抗生AS型唾液免疫家兎血清ノ各型人血清 = 對スル沈降反應
並ビ = 各型人血清 = 依ル吸着試驗

吸着人血清		對 照	O型(αβ)					A型(β)					B型(α)					AS型(o)																		
抗番血清號	抗稀血清度		作ノ用人血清型	人 血 清 稀 釋 倍 數																																
		O	一	一〇	一〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇〇	K	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	K	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	K	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	K		
Nr.81		O	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		A	+++	+++	+++	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		B	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		AB	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
Nr.89	1:5	O	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		A	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		B	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		AB	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Nr.66		O	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		A	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		B	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		AB	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第24表 抗生BS型唾液免疫家兎血清ノ各型人血清 = 對スル沈降反應
並ビ = 各型人血清 = ヨル吸着試驗

吸着人血清		對 照	O型(αβ)					A型(β)					B型(α)					AB型(o)																		
抗番血清號	抗稀血清度		作ノ用人血清型	人 血 清 稀 釋 倍 數																																
		O	一	一〇	一〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇〇	K	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	K	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	K	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	K		
Nr.87		O	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		A	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		B	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		AB	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Nr.170	1:2	O	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		A	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		B	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		AB	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Nr.61		O	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		A	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		B	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		AB	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第2項 人體液 = 對スル沈降反應

人體液特 = 數種人體腺分泌液中 = 血液型 = 一致シタ型の物質が存在スル事ハ、既 = 諸家ノ實驗 = ヨリ證明サレテキル處デアリ、又之等ノ型の物質 = 於テモ、人唾液ノ場合ト同様、容易 = 證明シ得ルモノト、容易 = 證明シ難キモノトノ2群アル事、而カモ之レハ人唾液ノ「排出型」ト「非排出型」 = 完全 = 一致スル事 = 就イテハ、余等(深尾、吉川、越野)ガ既 = 昭和13年第23次日本法醫學會總會 = 於テ其ノ一部ヲ發表シタノデアルガ、ナホ詳細ハ後日發表スル事トシ、該項 = 於テハ、抗生人唾液免疫家兎血清中ノ種屬特異性沈降素ヲ證明スル目的デアルカラ、人體液ノ型及ビ「排出型」「非排出型」ヲ考慮 = 入レズ、O型人體液 = 就イテノミ述べル事トスル。

第27表(其1) 抗生AS型唾液免疫家兎血清ノ各型人唾液ニ對スル沈降素價並ビニ沈降素量

抗血清番號		Nr. 81							Nr. 89							Nr. 66												
家兎ノ血清型		α'							α'β'							α'β'												
抗稀 血釋 清度	唾給 液者 供名	唾 液ノ 型	人 唾 液 稀 釋 倍 數																									
			五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	K	五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	K	五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	K		
1: 2	吉×	OS			-	-	-	-	-				-	-	-	-	-	-						-	-	-	-	
	深×	Os			-	-	-	-	-				-	-	-	-	-	-						-	-	-	-	
	越×	AS						-	-							-	-	-							+	-	-	
	信×	As			-	-	-	-	-				-	-	-	-	-	-					+	-	-	-	-	
	寺×	BS				-	-	-	-					-	-	-	-	-								+	-	-
	米×	Bs				-	-	-	-					-	-	-	-	-								+	-	-
	材×	ABS						-	-							-	-	-								-	-	-
1: 5	吉×	OS			-	-	-	-	-				-	-	-	-	-	-						-	-	-	-	
	深×	Os			-	-	-	-	-			+	-	-	-	-	-	-						-	-	-	-	
	越×	AS					-	-	-							-	-	-							+	-	-	
	信×	As			+	-	-	-	-				+	-	-	-	-	-					+	-	-	-	-	
	寺×	BS				+	-	-	-					+	-	-	-	-							+	-	-	
	米×	Bs				+	+	-	-					+	-	-	-	-						+	+	-	-	
	材×	ABS						-	-							-	-	-							+	-	-	
1:10	吉×	OS		-	-	-	-	-	-				-	-	-	-	-	-						-	-	-	-	
	深×	Os		-	-	-	-	-	-				+	-	-	-	-	-						-	-	-	-	
	越×	AS					-	-	-							-	-	-							-	-	-	
	信×	As	+	-	-	-	-	-	-			+	-	-	-	-	-	-				+	-	-	-	-	-	
	寺×	BS	+	-	-	-	-	-	-					-	-	-	-	-						-	-	-	-	
	米×	Bs	+	-	-	-	-	-	-					-	-	-	-	-						-	-	-	-	
	材×	ABS					-	-	-							-	-	-							-	-	-	
1:20	吉×	OS	-	-	-	-	-	-	-			+	+	-	-	-	-	-				+	+	-	-	-	-	
	深×	Os	-	-	-	-	-	-	-			-	-	-	-	-	-	-					+	-	-	-	-	
	越×	AS	++	-	-	-	-	-	-							-	-	-							+	-	-	
	信×	As	-	-	-	-	-	-	-			++	-	-	-	-	-	-				+	-	-	-	-	-	
	寺×	BS	-	-	-	-	-	-	-				+	-	-	-	-	-				+	-	-	-	-	-	
	米×	Bs	-	-	-	-	-	-	-					-	-	-	-	-					+	-	-	-	-	
	材×	ABS	++	-	-	-	-	-	-							-	-	-							+	-	-	
1:40	吉×	OS	-	-	-	-	-	-	-	++	+	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-		
	深×	Os	-	-	-	-	-	-	-	++	+	+	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-		
	越×	AS	-	-	-	-	-	-	-	++	+	+	-	-	-	-	-	-	++	++	++	+	-	-	-	-		
	信×	As	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-		
	寺×	BS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-		
	米×	Bs	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-		
	材×	ABS	-	-	-	-	-	-	-	++	+	+	-	-	-	-	-	-	++	++	++	+	-	-	-	-		
1:80	吉×	OS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-		
	深×	Os	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-		
	越×	AS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	++	-	-	-	-	-	-	-		
	信×	As	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	寺×	BS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	米×	Bs	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-		
	材×	ABS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	++	-	-	-	-	-	-	-		

第27表(其2) 抗生AS型唾液免疫家兔血清ノ各型人唾液ニ
對スル沈降素價並ビニ沈降素量

抗血清番號			Nr. 90							Nr. 185							Nr. 205													
家兔ノ血清型			α'β'							α'							α'													
抗稀 血清 清度	唾給 液者 供名	唾液ノ 型	人 唾 液 稀 釋 倍 數																											
			五	〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	六四〇	K	五	〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	六四〇	K	五	〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	六四〇	K	
1:2	吉×	OS	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	-	
	深×	Os	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	+++	+++	+++	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	-	
	越×	AS	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	+++	+++	+++	+++	+++	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	
	信×	As	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	+++	+++	+++	+++	+++	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	
	寺×	BS	+++	+++	+++	+++	+++	+++	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	
	米×	Bs	+++	+++	+++	+++	+++	+++	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	
	材×	ABS	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	+++	+++	+++	+++	+++	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	
1:5	吉×	OS	+++	+++	+++	+++	+++	+++	-	-	+++	+++	+++	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	
	深×	Os	+++	+++	+++	+++	+++	+++	-	-	+++	+++	+++	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	
	越×	AS	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	+++	+++	+++	+++	+++	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	
	信×	As	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	+++	+++	+++	+++	+++	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	
	寺×	BS	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	+++	+++	+++	+++	+++	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	
	米×	Bs	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	+++	+++	+++	+++	+++	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	
	材×	ABS	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	+++	+++	+++	+++	+++	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	
1:10	吉×	OS	+++	+++	+++	+++	+++	+++	-	-	+++	+++	+++	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	
	深×	Os	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	+++	+++	+++	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	
	越×	AS	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	+++	+++	+++	+++	+++	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	
	信×	As	+++	+++	+	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+
	寺×	BS	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	+++	+++	+++	+++	+++	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	
	米×	Bs	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	+++	+++	+++	+++	+++	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	
	材×	ABS	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	+++	+++	+++	+++	+++	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	
1:20	吉×	OS	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	
	深×	Os	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	-	-	-	-	-	-	
	越×	AS	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	+++	+++	+++	+++	+++	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	
	信×	As	+++	+++	+	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+
	寺×	BS	+++	+++	+++	+++	+++	+++	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	
	米×	Bs	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	+++	+++	+++	+++	+++	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	
	材×	ABS	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	+++	+++	+++	+++	+++	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	
1:40	吉×	OS	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	
	深×	Os	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	
	越×	AS	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	
	信×	As	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	
	寺×	BS	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	
	米×	Bs	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	
	材×	ABS	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	

1:80	吉×	OS	-	-	-	-	-	-	-	-	++	++	++	++	-	-	-	-
	深×	Os	-	-	-	-	-	-	-	-	++	++	++	++	-	-	-	-
	越×	AS	-	-	-	-	-	-	-	-	++	++	++	++	++	-	-	-
	信×	As	-	-	-	-	-	-	-	-	++	++	++	++	-	-	-	-
	寺×	BS	-	-	-	-	-	-	-	-	++	++	++	++	-	-	-	-
	米×	Bs	-	-	-	-	-	-	-	-	++	++	++	++	-	-	-	-
	材×	ABS	-	-	-	-	-	-	-	-	++	++	++	++	+	-	-	-
1:160	吉×	OS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-
	深×	Os	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	-	-	-	-
	越×	AS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	-	-	-	-
	信×	As	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	-	-	-	-
	寺×	BS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	-	-	-	-
	米×	Bs	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	-	-	-	-
	材×	ABS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	-	-	-	-

(II) 抗生 BS 型唾液免疫家兔血清 = 就イテ

第28表(其1), (其2) = 示ス如ク, 沈降素價10—320倍, 沈降素量10—80倍ヲ呈シ, 適當ナル抗血清稀釋度ニ於テハ, 抗 B 沈降素ノ產生ヲ思ハセル如キ反應ヲ示シテキルガ, 抗 AS 型唾液免疫血清ノ場合ト同様, 他型唾液ニモ相當著明ナ沈降反應ヲ呈シテキル.

(III) 抗生 ABS 型唾液免疫家兔血清 = 就イテ

コノ場合モ, 沈降素價40—160倍, 沈降素量20—40倍ヲ示シ, AS 型, BS 型, ABS 型以外ノ唾液ニモ相當著明ナ沈降反應ヲ呈シテキル(第29表).

(IV) 抗生 As 型又ハ Bs 型唾液免疫家兔血清 = 就イテ

抗生 As 型唾液免疫血清, 抗生 Bs 型唾液免疫血清共ニ沈降素價20—80倍, 沈降素量10—20倍ヲ示シ(第30表)(第31表), 特ニ抗 A 又ハ抗 B 沈降素ノ產生ヲ推測サセル様ナ反應ヲ示サズ, 凡テノ型ノ唾液ニ對シテ大體同程度ノ沈降反應ヲ呈シテキル.

(V) 抗生 O 型唾液免疫家兔血清 = 就イテ

抗生 OS 型唾液免疫血清, 抗生 Os 型唾液免疫血清共ニ沈降素價20—320倍, 沈降素量20—40倍ヲ示シテキルガ(第32表), 特ニ O 型特異性沈降素ノ產生ヲ思ハセル様ナ反應ヲ示サズ各型唾液ニ對シテ大體同程度ノ沈降反應ヲ呈シテキル.

第28表(其1) 抗生BS型唾液免疫家兔血清ノ各型人唾液ニ對スル沈降素價並ビニ沈降素量

抗血清番號			Nr. 87								Nr. 170								Nr. 61								
家兔ノ血清型			α'β'								α'β'								α'β'								
抗稀 血清 清度	唾給 液者 供名	唾液 ノ 型	人 唾 液 稀 釋 倍 數																								
			五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	六四〇	K	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	六四〇	K	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇
1: 2	吉×	OS	+++	+++	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	-	-	-	-
	深×	Os	+++	+++	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+	+	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-
	越×	AS	+++	+++	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-
	信×	As	+++	+++	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+	+	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-
	寺×	BS	+++	+++	+++	+	+	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+	+	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+	+	-	-
	米×	Bs	+++	+++	+	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+	+	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-
	材×	ABS	+++	+++	+++	+	+	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+	+	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+	+	-	-
1: 5	吉×	OS	+++	++	-	-	-	-	-	-	+++	+++	++	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	
	深×	Os	+++	++	-	-	-	-	-	-	+++	+++	++	+	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	+	-	-	-	
	越×	AS	++	++	-	-	-	-	-	-	+++	+++	++	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	+	-	-	-	
	信×	As	+++	++	+	-	-	-	-	-	+++	+++	++	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	+	+	-	-	
	寺×	BS	+++	+++	+++	++	+	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	++	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-
	米×	Bs	+++	+++	++	-	-	-	-	-	+++	+++	++	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	+	-	-	-	
	材×	ABS	+++	+++	++	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	++	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-
1:10	吉×	OS	++	+	-	-	-	-	-	-	++	++	+	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	
	深×	Os	++	+	-	-	-	-	-	-	++	++	+	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	
	越×	AS	++	+	-	-	-	-	-	-	++	++	+	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	
	信×	As	++	+	-	-	-	-	-	-	++	++	+	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	+	-	-	-	
	寺×	BS	+++	++	+	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	++	+	+	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-
	米×	Bs	++	+	-	-	-	-	-	-	++	++	+	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	
	材×	ABS	+++	++	+	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	++	+	+	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-
1:20	吉×	OS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	
	深×	Os	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	
	越×	AS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	
	信×	As	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	
	寺×	BS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	
	米×	Bs	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	
	材×	ABS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	
1:40	吉×	OS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	
	深×	Os	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	
	越×	AS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	+	-	-	-	
	信×	As	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	
	寺×	BS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	+	-	-	-	
	米×	Bs	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	+	-	-	-	
	材×	ABS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	+	-	-	-	
1: 80	吉×	OS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	
	深×	Os	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	
	越×	AS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	++	+	-	-	-	-	-	-	
	信×	As	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	++	+	-	-	-	-	-	-	
	寺×	BS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	++	+	-	-	-	-	-	-	
	米×	Bs	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	++	+	-	-	-	-	-	-	
	材×	ABS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	++	+	-	-	-	-	-	-	

第28表(其2) 抗生BS型唾液免疫家兔血清ノ各型人唾液ニ對スル沈降素價並ビニ沈降素量

抗血清番號			Nr. 163							Nr. 171							Nr. 88																		
家兔ノ血清型			β'							α'β'							α'β'																		
抗稀 血釋 清度	唾給 液者 供名	唾 液ノ 型	人 唾 液 稀 釋 倍 數																																
			五	〇	二	四	八	一六	三二	六四	K	五	〇	二	四	八	一六	三二	六四	K	五	〇	二	四	八	一六	三二	六四	K						
1: 2	吉×	OS	+++	+++	++	+	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-		
	深×	Os	+++	+++	++	+	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	
	越×	AS	+++	++	++	++	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	
	信×	As	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-
	寺×	BS	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	-	-
	米×	Bs	+++	+++	+++	++	+	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-
	材×	ABS	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-
1: 5	吉×	OS	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	-	
	深×	Os	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	-	
	越×	AS	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	
	信×	As	+++	+++	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	-
	寺×	BS	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-
	米×	Bs	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-
	材×	ABS	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-
1:10	吉×	OS	++	++	+	-	-	-	-	-	-	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	-	
	深×	Os	++	++	+	-	-	-	-	-	-	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	-	
	越×	AS	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	
	信×	As	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	-
	寺×	BS	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-
	米×	Bs	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-
	材×	ABS	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-
1:20	吉×	OS	+	-	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	深×	Os	+	-	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	越×	AS	+	-	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	信×	As	+	-	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	寺×	BS	++	+	-	-	-	-	-	-	-	+++	++	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-
	米×	Bs	+	-	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	材×	ABS	++	+	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-
1:40	吉×	OS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	深×	Os	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	越×	AS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	信×	As	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	寺×	BS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-
	米×	Bs	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	材×	ABS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	
1:80	吉×	OS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	深×	Os	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	越×	AS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	信×	As	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	寺×	BS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	米×	Bs	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	材×	ABS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

抗人唾液免疫家兔血清ニ於ケル型特異性抗體(特ニ型的沈降素)ノ產生ニ就イテ

第29表 抗生 ABS 型唾液免疫家兔血清ノ各型人唾液ニ對スル沈降素價並ビニ沈降素量

抗血清番號			Nr. 192						Nr. 186										
家兔ノ血清型			α'β'						α'β'										
抗稀 血清 清度	唾 液 者 名	唾 液 ノ 型	人 唾 液 稀 釋 倍 數																
			五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	K	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	K	
1:2	吉	× OS	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-
	深	× Os	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-
	越	× AS	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-
	信	× As	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-
	寺	× BS	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-
	米	× Bs	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-
	材	× ABS	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-
1:5	吉	× OS	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-
	深	× Os	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-
	越	× AS	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-
	信	× As	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-
	寺	× BS	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-
	米	× Bs	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-
	材	× ABS	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-
1:10	吉	× OS	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-
	深	× Os	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-
	越	× AS	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-
	信	× As	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-
	寺	× BS	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-
	米	× Bs	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-
	材	× ABS	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-
1:20	吉	× OS	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	++	+	-	-	-	-	-	-
	深	× Os	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	++	+	-	-	-	-	-	-
	越	× AS	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	++	+	-	-	-	-	-	-
	信	× As	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	++	+	-	-	-	-	-	-
	寺	× BS	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	++	+	-	-	-	-	-	-
	米	× Bs	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	++	+	-	-	-	-	-	-
	材	× ABS	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	++	+	-	-	-	-	-	-
1:40	吉	× OS	++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	深	× Os	++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	越	× AS	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	信	× As	++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	寺	× BS	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	米	× Bs	++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	材	× ABS	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1:80	吉	× OS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	深	× Os	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	越	× AS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	信	× As	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	寺	× BS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	米	× Bs	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	材	× ABS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第30表 抗生As型唾液免疫家兎血清ノ各型人唾液ニ
對スル沈降素價並ビニ沈降素量

抗血清番號			Nr. 157							Nr. 179							Nr. 198							Nr. 202																		
家兎ノ血清型			α'							α'β'							α'β'							α'β'																		
抗稀 血釋 清度	唾給 液者 供名	唾液ノ 型	人 唾 液 稀 釋 倍 數																																							
			五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	K	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	K	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	K	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	K								
1:2	吉×	OS	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-
	深×	Os	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-
	越×	AS	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-
	信×	As	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-
	寺×	Bs	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-
	米×	Bs	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-
	材×	ABS	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-
1:5	吉×	OS	+++	+++	+++	++	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	
	深×	Os	+++	+++	+++	++	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	
	越×	AS	+++	+++	+++	++	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	
	信×	As	+++	+++	+++	++	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	
	寺×	Bs	+++	+++	+++	++	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	
	米×	Bs	+++	+++	+++	++	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	
	材×	ABS	+++	+++	+++	++	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	
1:10	吉×	OS	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	++	-	-	-	-	-	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	++	-	-	-	-	-	-	-	
	深×	Os	+++	+++	+++	++	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	
	越×	AS	+++	+++	+++	++	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	
	信×	As	+++	+++	+++	++	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	
	寺×	Bs	+++	+++	+++	++	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	
	米×	Bs	+++	+++	+++	++	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	
	材×	ABS	+++	+++	+++	++	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	
1:20	吉×	OS	++	++	++	+	-	-	-	++	++	++	+	-	-	-	-	++	++	++	+	-	-	-	-	++	++	++	+	-	-	-	-	++	++	++	+	-	-	-	-	
	深×	Os	++	++	++	+	-	-	-	++	++	++	+	-	-	-	-	++	++	++	+	-	-	-	-	++	++	++	+	-	-	-	-	++	++	++	+	-	-	-	-	
	越×	AS	++	++	++	+	-	-	-	++	++	++	+	-	-	-	-	++	++	++	+	-	-	-	-	++	++	++	+	-	-	-	-	++	++	++	+	-	-	-	-	
	信×	As	++	++	++	+	-	-	-	++	++	++	+	-	-	-	-	++	++	++	+	-	-	-	-	++	++	++	+	-	-	-	-	++	++	++	+	-	-	-	-	
	寺×	Bs	++	++	++	+	-	-	-	++	++	++	+	-	-	-	-	++	++	++	+	-	-	-	-	++	++	++	+	-	-	-	-	++	++	++	+	-	-	-	-	
	米×	Bs	++	++	++	+	-	-	-	++	++	++	+	-	-	-	-	++	++	++	+	-	-	-	-	++	++	++	+	-	-	-	-	++	++	++	+	-	-	-	-	
	材×	ABS	++	++	++	+	-	-	-	++	++	++	+	-	-	-	-	++	++	++	+	-	-	-	-	++	++	++	+	-	-	-	-	++	++	++	+	-	-	-	-	
1:40	吉×	OS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	深×	Os	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	越×	AS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	信×	As	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	寺×	Bs	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	米×	Bs	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	材×	ABS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第31表 抗Bs型唾液免疫家兔血清ノ各型人唾液ニ對スル沈降素價並ビニ沈降素量

抗血清番號			Nr. 152						Nr. 154									
家兔ノ血清型			α'β'						α'β'									
抗稀 血釋 清度	睡給 液者 供名	睡液 ノ型	人唾液稀釋倍數															
			五	〇	三〇	一〇〇	一〇〇〇	K	五	〇	三〇	一〇〇	一〇〇〇	K				
1:2	吉×	OS	+++	+++	+++	+++	—	—	—	—	+++	+++	+++	+	—	—	—	—
	深×	Os	+++	+++	+++	++	—	—	—	—	+++	+++	+++	++	—	—	—	—
	越×	AS	+++	+++	+++	++	—	—	—	—	+++	+++	+++	++	—	—	—	—
	信×	As	+++	+++	+++	++	—	—	—	—	+++	+++	+++	++	—	—	—	—
	寺×	BS	+++	+++	+++	++	—	—	—	—	+++	+++	+++	++	—	—	—	—
	米×	Bs	+++	+++	+++	++	—	—	—	—	+++	+++	+++	++	—	—	—	—
	材×	ABS	+++	+++	+++	++	—	—	—	—	+++	+++	+++	++	—	—	—	—
1:5	吉×	OS	+++	+++	+++	++	—	—	—	—	+++	+++	++	+	—	—	—	—
	深×	Os	+++	+++	+++	++	—	—	—	—	+++	+++	+++	++	—	—	—	—
	越×	AS	+++	+++	+++	++	—	—	—	—	+++	+++	+++	++	—	—	—	—
	信×	As	+++	+++	+++	+	—	—	—	—	+++	+++	++	+	—	—	—	—
	寺×	BS	+++	+++	+++	++	—	—	—	—	+++	+++	+++	++	—	—	—	—
	米×	Bs	+++	+++	+++	+	—	—	—	—	+++	+++	++	+	—	—	—	—
	材×	ABS	+++	+++	+++	++	—	—	—	—	+++	+++	+++	++	—	—	—	—
1:10	吉×	OS	+++	+++	++	+	—	—	—	—	+++	++	+	—	—	—	—	—
	深×	Os	+++	+++	+++	+	—	—	—	—	+++	+++	++	+	—	—	—	—
	越×	AS	+++	+++	+++	+	—	—	—	—	+++	+++	+++	+	—	—	—	—
	信×	As	+++	+++	+++	+	—	—	—	—	+++	+++	+++	+	—	—	—	—
	寺×	BS	+++	+++	+++	+	—	—	—	—	+++	+++	+++	+	—	—	—	—
	米×	Bs	+++	+++	+++	+	—	—	—	—	+++	+++	+++	+	—	—	—	—
	材×	ABS	+++	+++	+++	+	—	—	—	—	+++	+++	+++	+	—	—	—	—
1:20	吉×	OS	++	++	+	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	深×	Os	++	++	++	+	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	越×	AS	++	++	++	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	信×	As	++	++	++	+	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	寺×	BS	++	++	++	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	米×	Bs	++	++	++	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	材×	ABS	++	++	++	+	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1:40	吉×	OS	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	深×	Os	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	越×	AS	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	信×	As	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	寺×	BS	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	米×	Bs	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	材×	ABS	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第32表 抗生 OS 型又ハ生 Os 型唾液免疫家兔血清ノ各型人
唾液 = 對スル沈降素價並ビニ沈降素量

免疫唾液		OS 型										Os 型																															
抗血清番號		Nr. 197					Nr. 206					Nr. 204					Nr. 211																										
家兔ノ血清型		o					α'/β'					o					α'/β'																										
抗稀釋度	唾液者名	人 唾 液 稀 釋 倍 數																																									
		唾ノ液型		五					一〇					二〇					四〇					八〇					一六〇					三二〇					K				
		五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	K	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	K	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	K	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	K										
1:2	吉× OS	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-											
	深× Os	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-											
	越× AS	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-											
	信× As	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-											
	寺× BS	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-											
	米× Bs	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-											
	材× ABS	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-											
1:5	吉× OS	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-											
	深× Os	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-											
	越× AS	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-											
	信× As	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-											
	寺× BS	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-											
	米× Bs	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-											
	材× ABS	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-											
1:10	吉× OS	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-											
	深× Os	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-											
	越× AS	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-											
	信× As	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-											
	寺× BS	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-											
	米× Bs	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-											
	材× ABS	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-											
1:20	吉× OS	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-											
	深× Os	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-											
	越× AS	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-											
	信× As	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-											
	寺× BS	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-											
	米× Bs	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-											
	材× ABS	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-											
1:40	吉× OS	++	++	++	+	-	-	-	++	++	++	++	+	-	-	-	++	++	++	++	+	-	-	-	++	++	++	++	+	-	-	-											
	深× Os	++	++	++	+	-	-	-	++	++	++	++	+	-	-	-	++	++	++	++	+	-	-	-	++	++	++	++	+	-	-	-											
	越× AS	++	++	++	+	-	-	-	++	++	++	++	+	-	-	-	++	++	++	++	+	-	-	-	++	++	++	++	+	-	-	-											
	信× As	++	++	++	+	-	-	-	++	++	++	++	+	-	-	-	++	++	++	++	+	-	-	-	++	++	++	++	+	-	-	-											
	寺× BS	++	++	++	+	-	-	-	++	++	++	++	+	-	-	-	++	++	++	++	+	-	-	-	++	++	++	++	+	-	-	-											
	米× Bs	++	++	++	+	-	-	-	++	++	++	++	+	-	-	-	++	++	++	++	+	-	-	-	++	++	++	++	+	-	-	-											
	材× ABS	++	++	++	+	-	-	-	++	++	++	++	+	-	-	-	++	++	++	++	+	-	-	-	++	++	++	++	+	-	-	-											
1:80	吉× OS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-												
	深× Os	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-												
	越× AS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-												
	信× As	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-												
	寺× BS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-												
	米× Bs	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-												
	材× ABS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-												

第35表 抗生ABS型唾液免疫家兔血清ノ各型人唾液ニ對スル沈降反應並ビニ人血清ニヨル吸着試験

抗血清番號		Nr. 192	Nr. 186															
處置	抗稀血釋清度	作唾用人液	人唾液稀釋倍數															
			五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	K	五	〇	〇	〇	〇	〇	K	
對照	1:2	OS	+++	+++	+++	+++	++	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	-
		Os	+++	+++	+++	+++	++	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	-
		AS	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-
		As	+++	+++	+++	+++	++	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	-
		BS	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-
		Bs	+++	+++	+++	++	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	-
		ABS	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-
人血清ニテ吸着	1:2	OS	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	++	+	-	-	-	-	-	-
		Os	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	++	+	-	-	-	-	-	-
		AS	+++	+++	+++	+++	++	-	-	+++	++	++	+	-	-	-	-	-
		As	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	++	+	-	-	-	-	-	-
		BS	+++	+++	+++	++	-	-	-	+++	+++	+++	++	+	-	-	-	-
		Bs	+++	+++	+	-	-	-	-	+++	++	+	-	-	-	-	-	-
		ABS	+++	+++	+++	+++	++	-	-	+++	+++	+++	++	+	-	-	-	-

第2項 人血清ニ依ル吸着試験

抗各型生唾液免疫家兔血清中ノ種屬特異性沈降素ヲ除去スル目的デ、人血清ヲ以テ吸着試験ヲ行ヒ、該吸着上清ノ各型人唾液ニ對スル沈降反應ヲ見ルニ、第33表、第34表、第35表、第36表、第37表ニ示ス如ク、人血清ニハ最早全然沈降反應ヲ呈シナイニ拘ラズ、各型唾液ニハナホ反應陽性ヲ示シテアル。但シ以上ノ内、Nr. 81ハAS型、ABS型唾液ニノミ作用シ、既ニ抗A免疫沈降素ノ產生ヲ明示シテキル。

コノ際吸着人血清ハO型ヲ1%「アラビヤゴム液」デ2—10倍ニ稀釋シタモノヲ用ヒタ。

第36表 抗生As型又ハBs型唾液免疫家兎血清ノ各型人唾液ニ對スル沈降反應並ビニ人血清ニ依ル吸着試験

免疫唾液			As 型												Bs 型																												
抗血清番號			Nr. 157				Nr. 179				Nr. 189				Nr. 202				Nr. 152				Nr. 154																				
處置	抗釋血釋清度	作唾用人液	人 唾 液 稀 釋 倍 數																																								
			五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	K	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	K	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	K	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	K									
對照	1:2	OS	+++	+++	+++	++	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-		
		Os	+++	+++	+++	++	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	++	-	-	-	-		
		AS	+++	+++	+++	+++	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-		
		As	+++	+++	+++	+++	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-		
		BS	+++	+++	+++	+++	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-		
		Bs	+++	+++	+++	+++	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-		
		ABS	+++	+++	+++	+++	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-	+++	+++	+++	+++	++	-	-	-		
人血清ニテ吸着	1:2	OS	++	++	-	-	-	-	++	+	+	-	-	-	-	++	+	+	-	-	-	-	++	+	+	-	-	-	-	++	+	+	-	-	-	-	++	+	+	-	-	-	-
		Os	++	++	-	-	-	-	++	+	+	-	-	-	-	++	+	+	-	-	-	-	++	+	+	-	-	-	-	++	+	+	-	-	-	-	++	+	+	-	-	-	-
		AS	++	++	-	-	-	-	++	+	+	-	-	-	-	++	+	+	-	-	-	-	++	+	+	-	-	-	-	++	+	+	-	-	-	-	++	+	+	-	-	-	-
		As	++	++	-	-	-	-	++	+	-	-	-	-	-	++	+	-	-	-	-	-	++	+	-	-	-	-	-	++	+	-	-	-	-	-	++	+	-	-	-	-	-
		BS	++	++	-	-	-	-	++	+	-	-	-	-	-	++	+	-	-	-	-	-	++	+	-	-	-	-	-	++	+	+	+	-	-	-	++	+	+	+	-	-	-
		Bs	++	++	-	-	-	-	++	+	-	-	-	-	-	++	+	-	-	-	-	-	++	+	-	-	-	-	-	++	+	+	+	-	-	-	++	+	+	+	-	-	-
		ABS	++	++	-	-	-	-	++	+	+	-	-	-	-	++	+	+	-	-	-	-	++	+	+	-	-	-	-	++	+	+	-	-	-	-	++	+	+	-	-	-	-

[356]

第4節 抗生人唾液免疫家兔血清中ニ於ケル型的沈降素ノ證明

抗生人唾液免疫家兔血清中ノ人唾液ニ對スル型的沈降素ヲ證明スルニ當リ、既ニ第2節、第3節ニ於テ證明サレタ種屬特異性免疫沈降素及ビ抗人唾液特異性免疫沈降素ヲ除去スル必要ガアル。

第1項 抗生各型「排出型」唾液免疫家兔血清ニ就イテ

抗生各型「排出型」唾液免疫家兔血清ヲ人血清デ吸着シ、其ノ上清ヲ更ニ各型人唾液デ吸着後上清ノ各型人唾液ニ對スル沈降反應ヲ檢シタ。

(I) 抗生 AS 型唾液免疫家兔血清ニ就イテ

該抗血清ノ人血清デ吸着後上清ハ、AS 型、ABS 型唾液ヲ除ク各型唾液(As 型、BS 型、Bs 型、OS 型又ハ Os 型)ニ依ル吸着試験ノ結果、ナホ AS 型、ABS 型唾液ニ對シテ沈降反應陽人唾液ニ對スル沈降反應並ビニ該被吸着抗血清ノ各型人唾液ニ依ル吸着試験

AS 型											As 型											BS 型											Bs 型											ABS 型										
釋											倍											數																																
五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇				
											+										+	+									+	+																						
											+										+	+									+	+																						

結果、ナホ BS 型, ABS 型唾液 = 對シテ 沈降反應陽性ヲ示スガ, BS 型又ハ ABS 型唾液 = 依ル吸着後上清ハ, 何レノ型ノ唾液 = 對シテモ最早沈降反應陰性ヲ示ス(第40表).

(III) 抗生 ABS 型唾液免疫家兎血清 = 就イテ

該抗血清ヲ人血清デ吸着後上清ヲ更ニ AS 型唾液 = ヨツテ 吸着シタ上清ハ BS 型, ABS 型唾液 = 對シテノミ 型特異的 = 沈降反應ヲ示シ, BS 型唾液 = ヨツテ 吸着シタ上清ハ AS 型, ABS 型唾液 = 對シテノミ 型特異的 = 沈降反應ヲ示ス. ABS 型唾液 = ヨツテ吸着シタ上清ハ, 何レノ型ノ唾液 = 對シテモ沈降反應ヲ呈セズ As 型, Bs 型, OS 型又ハ Os 型唾液 = ヨル吸着後上清ハ AS 型, BS 型及ビ ABS 型唾液 = 對シテノミ沈降反應陽性デア(第41表).

以上ノ型の沈降反應 = 於テ, 沈降素價ハ一般ニ 10—40 倍デア(第41表), 或ルモノハ型的沈降反應甚ダ微弱ナ場合ガアル, 之レハ型的凝集反應ノ場合ト同様, 家兎ノ個性ニヨルモノト思ハレル.

第2項 抗生「非排出型」唾液免疫家兎血清 = 就イテ

免疫唾液ノ As 型, Bs 型ヲ問ハズ, 該抗血清ノ人血清 = 依ル吸着後上清ヲ更ニ各型人唾液 = 依ツテ吸着シタ結果ハ, 何レノ型ノ唾液ヲ以テ吸着シタ場合モ, 各型唾液 = 對シテ沈降反應陰性ヲ呈シタ(第42表).

第3項 抗生 O 型唾液免疫家兎血清 = 就イテ

免疫唾液ノ OS 型, Os 型ヲ問ハズ, 該抗血清ノ人血清 = 依ル吸着後上清ヲ更ニ各型人唾液ヲ以テ吸着シタ場合モ, 各型唾液 = 對シテ沈降反應陰性ヲ呈シタ(第43表).

以上第1項, 第2項, 第3項 = 依ツテ解ル如ク抗生 AS 型, BS 型又ハ ABS 型唾液免疫家兎血清 = 於テハ, 種屬特異性免疫沈降素及ビ抗人唾液特異性免疫沈降素ヲ吸着除去スル事 = 依ツテ, 始メテ人唾液 = 對スル型的沈降素ノ產生ヲ證明スル事ガ出來ルモノデア(第44表).

第44表 抗煮沸 AS 型唾液免疫家兎血清ノ各型人血清 = 對スル沈降反應

抗血清番號		Nr. 216					Nr. 222					Nr. 231					Nr. 220											
家兎ノ血清型		α'					α'					α'					α'											
抗稀釋度	作清用ノ人血液	人血清稀釋倍數																										
		二	五	一〇	五〇	一〇〇	一〇〇〇	K	二	五	一〇	五〇	一〇〇	一〇〇〇	K	二	五	一〇	五〇	一〇〇	一〇〇〇	K	二	五	一〇	五〇	一〇〇	一〇〇〇
1:2	O	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	A	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	B	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	AB	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1:5	O	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	A	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	B	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	AB	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第45表 抗煮沸AS型唾液免疫家兔血清ノ各型人唾液ニ對スル沈降素價並ビニ沈降素量

抗血清番號		Nr. 216					Nr. 222					Nr. 231					Nr. 220																					
家兔ノ血清型		α'					α'					α'					α'																					
稀釋度	給液者姓名	唾液型	人 唾 液 稀 釋 倍 數																																			
			五	二	一	〇	八	六	三	〇	K	五	二	一	〇	八	六	三	〇	K	五	二	一	〇	八	六	三	〇	K	五	二	一	〇	八	六	三	〇	K
1:2	吉×	OS	+++	+	-	-	-	-	-	++	+	-	-	-	-	-	-	-	+++	++	+	-	-	-	-	-	-	+++	++	+	-	-	-	-	-	-		
	深×	Os	+++	+	-	-	-	-	-	++	+	-	-	-	-	-	-	-	+++	++	+	-	-	-	-	-	-	+++	++	+	-	-	-	-	-	-		
	越×	AS	+++	+++	+++	+++	+++	+++	-	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	信×	As	+++	+	-	-	-	-	-	++	+	-	-	-	-	-	-	-	+++	++	+	-	-	-	-	-	-	+++	++	+	-	-	-	-	-	-		
	寺×	BS	+++	+	-	-	-	-	-	++	+	-	-	-	-	-	-	-	+++	++	+	-	-	-	-	-	-	+++	++	+	-	-	-	-	-	-		
	米×	Bs	+++	+	-	-	-	-	-	++	+	-	-	-	-	-	-	-	+++	++	+	-	-	-	-	-	-	+++	++	+	-	-	-	-	-	-		
	材×	ABS	+++	+++	+++	+++	+++	+++	-	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
1:5	吉×	OS	++	+	-	-	-	-	-	++	+	-	-	-	-	-	-	-	+++	++	+	-	-	-	-	-	-	+++	++	+	-	-	-	-	-	-		
	× 鷲	Os	++	+	-	-	-	-	-	++	+	-	-	-	-	-	-	-	+++	++	+	-	-	-	-	-	-	+++	++	+	-	-	-	-	-	-		
	越×	AS	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++
	信×	As	++	+	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	++	+	-	-	-	-	-	-	+++	++	+	-	-	-	-	-	-	
	寺×	BS	++	+	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	++	+	-	-	-	-	-	-	+++	++	+	-	-	-	-	-	-	
	米×	Bs	++	+	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	++	+	-	-	-	-	-	-	+++	++	+	-	-	-	-	-	-	
	材×	ABS	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++
1:10	吉×	OS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	深×	Os	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	越×	AS	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	
	信×	As	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	寺×	BS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	米×	Bs	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	材×	ABS	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	
1:20	吉×	OS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	深×	Os	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	越×	AS	++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	-	++	++	++	-	-	-	-	-	++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	-	++	-	-	-	-	-	-		
	信×	As	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	寺×	BS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	米×	Bs	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	材×	ABS	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	-	++	++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	-	++	++	++	++	++	++	++	++	
1:40	吉×	OS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	深×	Os	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	越×	AS	++	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	信×	As	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	寺×	BS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	米×	Bs	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	材×	ABS	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1:80	吉×	OS	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	深×	Os	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	越×	AS	++	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	信×	As	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	寺×	BS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	米×	Bs	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	材×	ABS	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

第50表 抗煮沸ABS型唾液免疫家兎血清ノ各型人血清ニ對スル沈降反應

抗血清番號		Nr. 223					Nr. 224							
家兎血清ノ型		α'β'					α'β'							
抗稀釋血清ノ清度	作用ノ血液ノ血液	人血清稀釋倍數												
		二	五	一〇	二〇	一〇〇	K	二	五	一〇	二〇	一〇〇	K	
1:2	O	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	AB	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1:5	O	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	AB	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3項 抗煮沸ABS型唾液免疫

家兎血清ニ就イテ

前項ト同様ニシテ、抗A、抗B免疫沈降素ノ產生ヲ確證シ得ル(第50表)、(第51表)、(第52表)但シ、Nr. 223ハ抗B免疫沈降素ノミヲ證明シ、抗A免疫沈降素ハ證明シ得ナカツタ。

第4項 抗煮沸O型唾液免疫

家兎血清ニ就イテ

抗煮沸OS型又ハOs型唾液免疫家兎血清モ人血清ニ對シテ沈降反應ヲ呈セズ(第53表)。

各型人唾液ニ對シテハ、沈降素價5—10倍、沈降素量2倍ノ反應ヲ呈シ(第54表)、抗人唾液特異性免疫沈降素ノ產生ヲ示シテキルガ、該抗血清ヲ各型人唾液デ吸着試験ヲ行フ時ハ最早各型唾液ニ對シテ沈降反應陰性ヲ示シ、O型特異性免疫沈降素ノ產生ヲ思ハセルモノハ無カツタ(第55表)。

第51表 抗煮沸ABS型唾液免疫家兎血清ノ各型人唾液ニ對スル沈降素價並ビニ沈降素量

抗血清番號				Nr. 223					Nr. 224								
家兎血清ノ型				α'β'					α'β'								
抗稀釋血清ノ清度	唾液供給者ノ名	唾液型		人唾液稀釋倍數													
				五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	K	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	K
1:2	吉	×	OS	++	++	++	++	-	-	-	-	++	++	++	++	-	-
	深	×	Os	++	++	++	++	-	-	-	-	++	++	++	++	-	-
	越	×	AS	++	+++	+++	+++	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+
	信	×	As	++	++	++	++	-	-	-	-	++	++	++	++	-	-
	寺	×	BS	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+
	米	×	Bs	++	++	++	++	-	-	-	-	++	++	++	++	-	-
材	×	ABS	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+	
1:5	吉	×	OS	-	-	-	-	-	-	-	-	+	++	++	+	-	-
	深	×	Os	-	-	-	-	-	-	-	-	+	++	++	+	-	-
	越	×	AS	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+
	信	×	As	-	-	-	-	-	-	-	-	++	++	++	++	-	-
	寺	×	BS	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+
	米	×	Bs	-	-	-	-	-	-	-	-	++	++	++	++	-	-
材	×	ABS	+++	+++	+++	+++	++	+	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+	
1:10	吉	×	OS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	深	×	Os	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	越	×	AS	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+
	信	×	As	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	寺	×	BS	++	++	++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+
	米	×	Bs	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
材	×	ABS	++	++	++	++	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+	
1:20	吉	×	OS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	深	×	Os	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	越	×	AS	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+
	信	×	As	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	寺	×	BS	-	-	-	-	-	-	-	-	++	++	++	++	-	-
	米	×	Bs	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
材	×	ABS	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+	
1:40	吉	×	OS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	深	×	Os	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	越	×	AS	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+
	信	×	As	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	寺	×	BS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	米	×	Bs	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
材	×	ABS	-	-	-	-	-	-	-	-	+++	+++	+++	+++	+++	+	
1:80	吉	×	OS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	深	×	Os	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	越	×	AS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	信	×	As	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	寺	×	BS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	米	×	Bs	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
材	×	ABS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

第57表 抗煮沸OS型又ハOs型唾液免疫家鶏血清ノ各型
 人唾液ニ對スル沈降素價並ビニ沈降素量

免疫唾液		OS型										Os型																			
抗血清番號		Nr. 114					Nr. 115					Nr. 112					Nr. 113														
家鶏ノ血清ノ型		α'β'					α'β'					α'β'					α'β'														
抗稀釋血清度	給液者名	血液型	人 唾 液 稀 釋 倍 數																												
			五	二	一	〇	八	六	三	〇	六	K	五	二	一	〇	八	六	三	〇	六	K	五	二	一	〇	八	六	三	〇	六
1:2	吉×OS	+++	+++	+++	+++	+++	+++	---	---	---	---	+++	+++	+++	+++	+++	---	---	---	---	+++	+++	+++	+++	+++	---	---	---	---		
	深×Os	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	+++	+++	+++	+++	+++	---	---	---	---	
	越×AS	+++	+++	+++	++	+	---	---	---	---	---	+++	+++	+++	++	---	---	---	---	---	---	+++	+++	+++	++	+	---	---	---	---	
	信×As	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	+++	+++	+++	+++	+++	---	---	---	---
	寺×BS	+++	+++	+	---	---	---	---	---	---	---	+++	+++	+	---	---	---	---	---	---	---	+++	+++	+++	+++	+	---	---	---	---	
	米×Bs	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	+++	+++	+++	+++	+++	---	---	---	---
材×ABS	+++	+++	+	+	---	---	---	---	---	---	+++	+++	+	---	---	---	---	---	---	---	+++	+++	+++	+++	+	---	---	---	---		
1:5	吉×OS	+++	+++	+++	+++	+++	---	---	---	---	+++	+++	+++	+++	---	---	---	---	---	---	+++	+++	+++	++	+	---	---	---	---		
	深×Os	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	+++	+++	+++	+++	++	+	---	---	---	
	越×AS	+++	+++	++	++	---	---	---	---	---	---	+++	+++	+++	---	---	---	---	---	---	---	+++	+++	++	+	+	---	---	---	---	
	信×As	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	+++	+++	+++	++	+	---	---	---	
	寺×BS	++	+	---	---	---	---	---	---	---	---	++	+	---	---	---	---	---	---	---	---	+++	+++	+++	++	+	---	---	---	---	
	米×Bs	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	+++	+++	+++	+++	+	---	---	---	---
材×ABS	++	+	---	---	---	---	---	---	---	---	++	+	---	---	---	---	---	---	---	---	+++	+++	++	+	---	---	---	---	---		
1:10	吉×OS	+++	+++	+++	+++	+++	---	---	---	---	+++	+++	+++	+++	---	---	---	---	---	---	+	+	+	+	+	---	---	---	---		
	深×Os	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	+++	+++	+++	+++	+	---	---	---	---	
	越×AS	+++	+++	++	---	---	---	---	---	---	---	+++	+++	++	---	---	---	---	---	---	---	+	+	+	+	---	---	---	---	---	
	信×As	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	+	+	+	+	---	---	---	---	
	寺×BS	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	+	+	+	+	---	---	---	---	
	米×Bs	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	+	+	+	+	---	---	---	---	
材×ABS	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	+	+	---	---	---	---	---	---		
1:20	吉×OS	++	++	++	++	++	---	---	---	---	++	++	++	++	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---		
	深×Os	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	
	越×AS	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	
	信×As	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	
	寺×BS	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	
	米×Bs	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	
材×ABS	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---		
1:40	吉×OS	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	
	深×Os	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	
	越×AS	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	
	信×As	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	
	寺×BS	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	
	米×Bs	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	
材×ABS	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---		

第7節 抗 AS 型又ハ BS 型唾液免疫家兎血清並ビニ抗煮沸 OS 型唾液免疫家鶏血清ニ依ル各型唾液ノ「排出型」「非排出型」ノ鑑別

抗 AS 型又ハ BS 型唾液免疫家兎血清中ノ抗 A 又ハ抗 B 沈降素及ビ抗煮沸 OS 型唾液免疫家鶏血清ヲ用ヒテ、O 型ヲモ含ム各型唾液ノ「排出型」「非排出型」ノ鑑別ヲナス事ガ出來ル。

檢定用抗血清トシテ、抗生唾液免疫家兎血清ヲ用フル場合ハ、型的沈降素ヲ得ルタメニ、先ヅ種屬特異性沈降素並ビニ人唾液特異性沈降素ヲ吸着除去スル必要ガアル。

之レガ爲メニハ人血清及ビ O 型人唾液ヲ以テ該抗血清ヲ吸着スル必要ガアルガ、O 型人唾液中ニハ種屬特異性物質ヲモ含シキルカラ、人血清デ吸着セズトモ、O 型人唾液ノミデ吸着スル事ニヨリ、大抵ノ場合、人唾液特異性沈降素ト共ニ種屬特異性沈降素モ同時ニ吸着除去サレル。従ツテ、抗生 AS 型又ハ BS 型唾液免疫家兎血清ノ場合ハ、O 型人唾液デ吸着シタ上清ガ最早人血清ニ作用シ無イ事ヲ確カメタ後ノモノヲ用ヒ、抗煮沸 AS 型又ハ BS 型唾液免疫家兎血清及ビ抗煮沸 OS 型唾液免疫家鶏血清ノ場合ハ、全然吸着試験ヲ施サズ適當ニ稀釋シタ抗血清ヲ以テ鑑別用トシタ。

第59表 抗 AS 型又ハ BS 型(生又ハ煮沸)唾液免疫家兎血清及ビ抗煮沸 OS 型唾液免疫家鶏血清ニ對スル各人唾液ノ沈降反應並ビニ該抗血清ニヨル各人唾液ノ「排出型」「非排出型」ノ鑑別

血液型	供給者ノ名	抗血清												唾液型判定	
		抗 A 沈降素血清				抗 B 型沈降素血清				第 3 異性沈降素血清					
		Nr. 81	Nr. 89	Nr. 216	Nr. 222	Nr. 87	Nr. 170	Nr. 229	Nr. 235	Nr. 114	Nr. 115	抗山羊腎臟免疫			
		抗 AS 型家兎血清	抗 O 型家兎血清	抗煮沸 OS 型家兎血清	抗 A 型家兎血清	抗 O 型家兎血清	抗煮沸 OS 型家兎血清	抗 B 型家兎血清	抗煮沸 OS 型家兎血清	抗 O 型家兎血清	抗煮沸 OS 型家兎血清	抗山羊腎臟免疫			
作用稀釋	稀釋倍數														
1:10	1:8	1:10	1:10	1:4	1:5	1:5	1:5	1:4	1:4						
A	越赤村生中山池吉石太田藤亘加利	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	AS
	越赤村生中山池吉石太田藤亘加利	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	AS
	越赤村生中山池吉石太田藤亘加利	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	AS
	越赤村生中山池吉石太田藤亘加利	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	AS
	越赤村生中山池吉石太田藤亘加利	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	AS
	越赤村生中山池吉石太田藤亘加利	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	AS
	越赤村生中山池吉石太田藤亘加利	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	AS
	越赤村生中山池吉石太田藤亘加利	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	AS
	越赤村生中山池吉石太田藤亘加利	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	AS
	越赤村生中山池吉石太田藤亘加利	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	AS
	越赤村生中山池吉石太田藤亘加利	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	AS
	越赤村生中山池吉石太田藤亘加利	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	AS
	越赤村生中山池吉石太田藤亘加利	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	AS
	越赤村生中山池吉石太田藤亘加利	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	AS

型	藤	×	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	AS
	鈴	×	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	AS
	瀧	×	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	AS
	辻	×	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	AS
	大	×	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	AS
	北	×	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	AS
	針	×	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	As
	中	×	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	AS
	野	×	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	AS
	表	×	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	As
	堀	×	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	As
	遠	×	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	AS
	山	×	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	AS
	北	×	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	As
	出	×	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	AS
池	×	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	As	
鷹	×	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	AS	
B 型	塚	×	一	一	一	一	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	BS	
	日	×	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	Bs	
	橋	×	一	一	一	一	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	BS	
	東	×	一	一	一	一	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	BS	
	西	×	一	一	一	一	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	BS	
	吉	×	一	一	一	一	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	BS	
	鮒	×	一	一	一	一	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	BS	
	季	×	一	一	一	一	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	BS	
	中	×	一	一	一	一	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	BS	
	河	×	一	一	一	一	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	BS	
	下	×	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	Bs	
	酒	×	一	一	一	一	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	BS	
	高	×	一	一	一	一	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	BS	
	石	×	一	一	一	一	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	BS	
	大	×	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	Bs	
杉	×	一	一	一	一	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	BS		
加	×	一	一	一	一	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	BS		
鈴	×	一	一	一	一	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	BS		
笠	×	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	Bs		
寺	×	一	一	一	一	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	BS		
AB 型	中	×	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	ABS	
	上	×	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	ABs	
	熊	×	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	ABS	
	舌	×	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	ABS	
	柳	×	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	ABS	
	菊	×	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	ABs	
	五	×	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	ABs	
	塚	×	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	ABS	
	開	×	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	ABS	
	吉	×	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	ABs	
	松	×	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	ABS	
	宮	×	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	ABS	

O 型	深吉	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	Os
	中藤	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	OS
	穴辻	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	OS
	岩吉	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	OS
	笠森	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	OS
	廣田	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	OS
	羽中	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	OS
	岩辰	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	OS
	內的	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	OS
	清杉	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	OS
	丹山	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	OS
	武	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	OS
	井藤	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	OS
	谷清	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	OS
	金小	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	OS
	飯中	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	OS

第59表ニ示スハ、多數人ニ就イテノ各型唾液ノ「排出型」「非排出型」判定成績デアル。A型32名ノ内、AS型24名(75%)、As型8名(25%)、B型20名ノ内、BS型16名(80%)、Bs型4名(20%)、AB型12名ノ内、ABS型8名(67%)、ABs型4名(33%)、O型32名ノ内、OS型23名(72%)、Os型9名(28%)。

總數96名ノ内、「排出型」71名(74%)、「非排出型」25名(26%)ヲ示シ、從來報告サレタ「排出型」「非排出型」ノ出現率ト略同様デアル。

コノ際對照ハ、型的沈降素血清トシテ抗A型又ハB型人血球免疫家兎血清ヲ、O型唾液ノ「排出型」「非排出型」判定用抗血清トシテハ抗海狸腎臟免疫山羊血清ヲ用ヒタガ、何レノ場合モ完全ニ一致シタ成績ヲ示シタ。

第 6 章 抗人唾液免疫家兔血清ニ於ケル補體結合反應

第 1 節 抗人唾液免疫家兔血清ノ各型人血球酒精越幾斯ニ對スル補體結合反應

第 1 項 抗 AS 型唾液免疫家兔血清ニ就イテ

(I) 抗生 AS 型唾液免疫家兔血清ニ就イテ

第60表ニ示ス如ク, Nr. 89, Nr. 185 共ニ, A 型人血球酒精越幾斯ニ對シテ, 抗血清稀釋度 10—160 倍マデ, A 型特異性補體結合反應ヲ呈シテキル. 然ルニコノ際 O 型, B 型人血球酒精越幾斯ニ對シテモ 5—10 倍マデ反應シテキルガ, コレハ種屬特異性補體結合反應ト見做スベキモノデ, 該抗血清ヲ, O 型人血球又ハ O 型人唾液デ吸着スル事ニ依ツテ完全ニ除去スル事ガ出來タ(表略).

第 60 表 抗生 AS 型唾液免疫家兔血清ノ各型人血球酒精越幾斯ニ對スル補體結合反應

家兔番號	血清型	處置 作血清ス 用球エキ 人酒キ	免 疫 前				免 疫 後								
			血 清 稀 釋 倍 數												
			五	一〇	二〇	四〇	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	六四〇	一二八〇
Nr. 89	α'β'	O	fk	k	k	k	o	o	sp	fk	k	k	k	k	k
		A	fk	k	k	k	o	o	o	o	o	o	sp	m	k
		B	fk	k	k	k	o	o	sp	fk	k	k	k	k	k
Nr. 185	α'	O	k	k	k	k	o	fk	k	k	k	k	k	k	k
		A	k	k	k	k	o	o	sp	fk	k	k	k	k	k
		B	k	k	k	k	o	fk	k	k	k	k	k	k	k

(II) 抗煮沸 AS 型唾液免疫家兔血清ニ就イテ

第61表ニ示ス如ク, Nr. 216, Nr. 222 共ニ, A 型人血球酒精越幾斯ニ對シテ, 抗血清稀釋度 5—40 倍マデ, A 型特異性補體結合反應ヲ呈シテキル.

第 61 表 抗煮沸 AS 型唾液免疫家兔血清ノ各型人血球酒精越幾斯ニ對スル補體結合反應

家兔番號	血清型	處置 作血清ス 用球エキ 人酒キ	免 疫 前				免 疫 後									
			血 清 稀 釋 倍 數													
			五	一〇	二〇	四〇	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	六四〇	一二八〇	二五六〇
Nr. 216	α'	O	sp	sw	k	k	k	k	k	k	k	k	k	k	k	k
		A	sp	sw	k	k	o	o	o	o	sp	sw	k	k	k	k
		B	sp	sw	k	k	k	k	k	k	k	η	k	k	k	k
Nr. 222	α'	O	k	k	k	k	k	k	k	k	k	k	k	k	k	k
		A	fk	k	k	k	o	sp	sw	fk	k	k	k	k	k	k
		B	k	k	k	k	k	k	k	k	k	k	k	k	k	k

第2項 抗BS型唾液免疫家兎血清=就イテ

(I) 抗生BS型唾液免疫家兎血清=就イテ

第62表=示ス如ク, Nr. 87, Nr. 163 共=, 輕度デハアルガ, 抗血清稀釋度5—10倍マデB型人血球酒精越幾斯=對シテ, B型特異性補體結合反應ヲ呈シテキル.

第62表 抗生BS型唾液免疫家兎血清ノ各型人血球酒精越幾斯=對スル補體結合反應

家兎番號	血清型	處置 血清ス 用球エ キ	免 疫 前				免 疫 後							
			血 清 稀 釋 倍 數											
			五	一〇	二〇	四〇	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	
Nr. 87	α'β'	O	k	k	k	k	fk	k	k	k	k	k	k	k
		A	k	k	k	k	fk	k	k	k	k	k	k	k
		B	k	k	k	k	o	o	fk	k	k	k	k	k
Nr. 163	β'	O	k	k	k	k	fk	k	k	k	k	k	k	k
		A	k	k	k	k	fk	k	k	k	k	k	k	k
		B	k	k	k	k	o	sp	fk	k	k	k	k	k

(II) 抗煮沸BS型唾液免疫家兎血清=就イテ

第63表=示ス如ク, Nr. 226, Nr. 235 共=前者同様, 抗血清稀釋度5—10倍マデ, B型特異性補體結合反應ヲ呈シテキル.

第63表 抗煮沸BS型唾液免疫家兎血清ノ各型人血球酒精越幾斯=對スル補體結合反應

家兎番號	血清型	處置 血清ス 用球エ キ	免 疫 前				免 疫 後							
			血 清 稀 釋 倍 數											
			五	一〇	二〇	四〇	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	
Nr. 226	α'β'	O	k	k	k	k	sw	fk	k	k	k	k	k	k
		A	k	k	k	k	sw	fk	k	k	k	k	k	k
		B	k	k	k	k	o	sp	sw	m	k	k	k	k
Nr. 235	α'β'	O	fk	k	k	k	sp	fk	k	k	k	k	k	k
		A	fk	k	k	k	sp	fk	k	k	k	k	k	k
		B	fk	k	k	k	o	o	sp	sw	fk	k	k	k

第3項 抗ABS型唾液免疫家兎血清=就イテ

(I) 抗生ABS型唾液免疫家兎血清=就イテ

第64表=示ス如ク, Nr. 192 ハ, 種屬特異性補體結合反應ト見做スベキ反應モ相當著明ニ呈シテキルガ, 反應ノ強サヨリ見テ, A型及ビB型特異性補體結合反應ト見做シテヨイ.

第64表 抗体ABS型唾液免疫家兔血清ノ各型人血
球越幾斯ニ對スル補體結合反應

抗血清番號	血清型	處置 作血清ス 用球エキ 人酒キ	免 疫 前				免 疫 後						
			血 清 稀 釋 倍 數										
			五	一〇	二〇	四〇	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇
Nr. 192	α'β'	O	k	k	k	k	o	o	fk	k	k	k	k
		A	k	k	k	k	o	o	o	o	o	fk	k
		B	k	k	k	k	o	o	o	sw	fk	k	k

(II) 抗煮沸ABS型唾液免疫家兔血清ニ就イテ

第65表ニ示ス如ク, Nr. 223ハ型特异性補體結合反應ヲ示サ無カツタガ, Nr. 224ハ抗血清稀釋度5—80倍マデ, A型及ビB型特异性補體結合反應ヲ呈シタ.

第65表 抗煮沸ABS型唾液免疫家兔血清ノ各型人
血球酒精越幾斯ニ對スル補體結合反應

抗血清番號	血清型	處置 作血清ス 用球エキ 人酒キ	免 疫 前				免 疫 後						
			血 清 稀 釋 倍 數										
			五	一〇	二〇	四〇	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇
Nr. 223	α'β'	O	k	k	k	k	fk	k	k	k	k	k	k
		A	k	k	k	k	fk	k	k	k	k	k	k
		B	k	k	k	k	fk	k	k	k	k	k	k
Nr. 224	α'β'	O	k	k	k	k	fk	k	k	k	k	k	k
		A	sp	fk	k	k	o	o	o	o	o	fk	k
		B	k	k	k	k	o	sp	fk	k	k	k	k

第4項 抗体「非排出型」唾液免疫家兔血清ニ就イテ

(I) 抗体As型唾液免疫家兔血清ニ就イテ

第66表ニ示ス如ク, Nr. 202, Nr. 198共ニ, 種屬特异性補體結合反應ヲ示スノミデ, 型特异性補體結合反應ヲ示スモノハ無カツタ.

第66表 抗体As型唾液免疫家兔血清ノ各型人血球
酒精越幾斯ニ對スル補體結合反應

抗血清番號	血清型	處置 作血清ス 用球エキ 人酒キ	免 疫 前				免 疫 後						
			血 清 稀 釋 倍 數										
			五	一〇	二〇	四〇	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇
Nr. 202	α'β'	O	k	k	k	k	o	fk	k	k	k	k	k
		A	k	k	k	k	o	fk	k	k	k	k	k
		B	k	k	k	k	o	fk	k	k	k	k	k
Nr. 198	α'β'	O	k	k	k	k	sp	fk	k	k	k	k	k
		A	k	k	k	k	o	fk	k	k	k	k	k
		B	k	k	k	k	o	fk	k	k	k	k	k

(II) 抗生 Bs 型唾液免疫家兔血清 = 就イテ

第67表 = 見ル如ク, Nr. 152, Nr. 154 共ニ, 前者同様, 型特異性補體結合反應ヲ示サ無カツタ.

第 67 表 抗生 Bs 型唾液免疫家兔血清ノ各型人血球
酒精越幾斯 = 對スル補體結合反應

抗血清番號	血清型	處置 作血清ス 用球エキ 人酒キ	免 疫 前				免 疫 後						
			血 清 稀 釋 倍 數										
			五	一〇	二〇	四〇	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇
Nr. 152	α'β'	O	k	k	k	k	o	fk	k	k	k	k	k
		A	k	k	k	k	o	fk	k	k	k	k	k
		B	k	k	k	k	o	fk	k	k	k	k	k
Nr. 154	α'β'	O	k	k	k	k	sw	fk	k	k	k	k	k
		A	k	k	k	k	sw	fk	k	k	k	k	k
		B	k	k	k	k	sw	fk	k	k	k	k	k

第 5 項 抗生 O 型唾液免疫家兔血清 = 就イテ

第68表 = 示ス如ク, 抗生 OS 型又ハ Os 型唾液免疫家兔血清 Nr. 225, Nr. 211 共ニ, 種屬特異性補體結合反應ヲ呈シテキルガ, 型特異性補體結合反應ヲ示サ無カツタ.

第 68 表 抗生 OS 型又ハ Os 型唾液免疫家兔血清ノ
各型人血球酒精越幾斯 = 對スル補體結合反應

免疫唾液	抗血清番號	血清型	處置 作血清ス 用球エキ 人酒キ	免 疫 前				免 疫 後						
				血 清 稀 釋 倍 數										
				五	一〇	二〇	四〇	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	
OS型	Nr. 225	α'	O	k	k	k	k	o	sw	fk	k	k	k	
			A	k	k	k	k	o	sw	fk	k	k	k	
			B	k	k	k	k	o	sw	fk	k	k	k	
Os型	Nr. 211	α'β'	O	k	k	k	k	o	o	sw	fk	k	k	
			A	k	k	k	k	o	o	sw	fk	k	k	
			B	k	k	k	k	o	o	sw	fk	k	k	

第 2 節 抗人唾液免疫家兔血清ノ各型人唾液 = 對スル補體結合反應

第 1 項 抗 AS 型唾液免疫家兔血清 = 就イテ

(I) 抗生 AS 型唾液免疫家兔血清 = 就イテ

第69表 = 示ス如ク, Nr. 89, Nr. 185 共ニ, 抗血清稀釋度10—40倍マデ, AS 型唾液 = 對スル A 型特異性補體結合反應ヲ示シテキル.

コノ際, Nr. 89 = 於テ, 各型唾液 = 對シテ抗血清稀釋度 5 倍マデ反應シテキルガ, 之レハ種屬特異性又ハ人唾液特異性補體結合反應ト見做スベキモノデアツテ, 該抗血清ヲ O 型人

血球又ハO型人唾液デ吸着後上清ハ、最早該反應ヲ呈セズ、A型特異性補體結合反應ノミヲ呈シタ(表略)。

第69表 抗生AS型唾液免疫家兎血清ノ各型人唾液ニ對スル補體結合反應

家兎番號	血清型	處置 作用液	免 疫 前				免 疫 後									
			血 清 稀 釋 倍 數													
			五	一〇	二〇	四〇	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	六四〇	一二八〇	
Nr. 89	α/β'	OS	fk	k	k	k	o	sw	m	fk	k	k	k	k	k	k
		AS	fk	k	k	k	o	o	o	o	sp	m	fk	k	k	
		As	fk	k	k	k	o	sp	sw	m	k	k	k	k	k	
		BS	fk	k	k	k	o	sw	fk	k	k	k	k	k	k	
		Bs	fk	k	k	k	o	sw	m	k	k	k	k	k	k	
Nr. 185	α'	OS	k	k	k	k	sp	fk	k	k	k	k	k	k	k	
		AS	k	k	k	k	o	o	sp	fk	k	k	k	k	k	
		As	k	k	k	k	sp	fk	k	k	k	k	k	k	k	
		BS	k	k	k	k	sp	fk	k	k	k	k	b	k	k	
		Bs	k	k	k	k	sp	fk	k	k	k	k	k	k	k	

(II) 抗煮沸AS型唾液免疫家兎血清ニ就イテ

第70表ニ示ス如ク、Nr. 216, Nr. 222 共ニAS型唾液ニ對シテ、抗血清稀釋度5—20倍マデ、A型特異性補體結合反應ヲ示シテキル。

第70表 抗煮沸AS型唾液免疫家兎血清ノ各型人唾液ニ對スル補體結合反應

家兎番號	血清型	處置 作用液	免 疫 前				免 疫 後									
			血 清 稀 釋 倍 數													
			五	一〇	二〇	四〇	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇	六四〇	一二八〇	
Nr. 216	α'	OS	k	k	k	k	fk	k	k	k	k	k	k	k	k	k
		AS	k	k	k	k	o	o	o	sp	sw	fk	k	k	k	
		As	k	k	k	k	sw	m	k	k	k	k	k	k	k	
		BS	k	k	k	k	fk	k	k	k	k	k	k	k	k	
		Bs	k	k	k	k	fk	k	k	k	k	k	k	k	k	
Nr. 222	α'	OS	k	k	k	k	fk	k	k	k	k	k	k	k	k	
		AS	k	k	k	k	o	sw	fk	k	k	k	k	k	k	
		As	k	k	k	k	fk	k	k	k	k	k	k	k	k	
		BS	k	k	k	k	fk	k	k	k	k	k	k	k	k	
		Bs	k	k	k	k	fk	k	k	k	k	k	k	k	k	

第2項 抗BS型唾液免疫家兎血清ニ就イテ

(I) 抗生BS型唾液免疫家兎血清ニ就イテ

第71表ニ示ス如ク、Nr. 87, Nr. 163 共ニ、各型人唾液ニ對シテ共通ニ補體結合反應ヲ呈シテキルガ、之レハ種屬特異性又ハ人唾液特異性補體結合反應デアツテ、該抗血清ヲO型人血

球又ハO型人唾液デ吸着スル時ハ、該補體結合性抗體ハ完全ニ吸着除去サレ、BS型唾液ニ對スルB型特異性補體結合反應ハ認メル事ガ出來無カツタ。

第71表 抗生BS型唾液免疫家兔血清ノ各型人唾液ニ對スル補體結合反應

家兔番號	血清型	處置 作人唾液 用液	免 疫 前				免 疫 後									
			血 清 稀 釋 倍 數							五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇
			五	一〇	二〇	四〇	五	一〇	二〇							
Nr. 87	$\alpha'\beta'$	OS	fk	k	k	k	o	fk	k	k	k	k	k	k	k	
		AS	fk	k	k	k	o	sw	fk	k	k	k	k	k	k	
		As	fk	k	k	k	o	fk	k	k	k	k	k	k	k	
		BS	fk	k	k	k	o	fk	k	k	k	k	k	k	k	
		Bs	fk	k	k	k	o	fk	k	k	k	k	k	k	k	
Nr. 163	β'	OS	k	k	k	k	o	fk	k	k	k	k	k	k	k	
		AS	k	k	k	k	o	sw	fk	k	k	k	k	k	k	
		As	k	k	k	k	o	k	k	k	k	k	k	k	k	
		BS	k	k	k	k	o	k	k	k	k	k	k	k	k	
		Bs	k	k	k	k	o	k	k	k	k	k	k	k	k	

(II) 抗煮沸BS型唾液免疫家兔血清ニ就イテ

第72表ニ示ス如ク、此ノ場合モ前者同様、Nr. 226, Nr. 235 共ニ、種屬特異性又ハ人唾液特異性補體結合反應ト見做サルベキ反應ハ認メタガ、BS型唾液ニ對スルB型特異性補體結合反應ハ認メル事ガ出來無カツタ。

第72表 抗煮沸BS型唾液家兔血清ノ各型人唾液ニ對スル補體結合反應

家兔番號	血清型	處置 作人唾液 用液	免 疫 前				免 疫 後									
			血 清 稀 釋 倍 數							五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇
			五	一〇	二〇	四〇	五	一〇	二〇							
Nr. 226	$\alpha'\beta'$	OS	k	k	k	k	o	fk	k	k	k	k	k	k	k	
		AS	k	k	k	k	o	sw	fk	k	k	k	k	k	k	
		As	k	k	k	k	o	fk	k	k	k	k	k	k	k	
		BS	k	k	k	k	o	sw	fk	k	k	k	k	k	k	
		Bs	k	k	k	k	o	fk	k	k	k	k	k	k	k	
Nr. 235	$\alpha'\beta'$	OS	fk	k	k	k	o	fk	k	k	k	k	k	k	k	
		AS	fk	k	k	k	o	fk	k	k	k	k	k	k	k	
		As	fk	k	k	k	o	fk	k	k	k	k	k	k	k	
		BS	fk	k	k	k	o	fk	k	k	k	k	k	k	k	
		Bs	fk	k	k	k	o	fk	k	k	k	k	k	k	k	

第3項 抗ABS型唾液免疫家兔血清ニ就イテ

(I) 抗生ABS型唾液免疫家兔血清ニ就イテ

第73表ニ示ス如ク、Nr. 192ハA型特異性補體結合反應ヲ呈シタガ、B型特異性補體結合

反應ハ示サ無カツタ。

第73表 抗生ABS型唾液免疫家兔血清ノ各型人唾液ニ對スル補體結合反應

抗血清番號	血清型	處置 人唾液 作用	免 疫 前				免 疫 後						
			血 清 稀 釋 倍 數										
			五	一〇	二〇	四〇	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇
Nr. 192	α'β'	OS	fk	k	k	k	o	o	fk	k	k	k	k
		AS	fk	k	k	k	o	o	o	o	fk	k	k
		As	fk	k	k	k	o	o	sw	fk	k	k	k
		BS	fk	k	k	k	o	o	sw	fk	k	k	k
		Bs	fk	k	k	k	o	o	fk	k	k	k	k

(II) 抗煮沸ABS型唾液免疫家兔血清ニ就イテ

第74表ニ示ス如ク, Nr. 223ハ型特異性補體結合反應ヲ示サナカツタガ, Nr. 224ハ抗血清稀釋度40倍マデ, A型特異性補體結合反應ヲ呈シ, B型特異性補體結合反應ハ示サ無カツタ。

以上ノ如ク, 抗生(又ハ煮沸)BS型又ハABS型唾液免疫家兔血清ガB型人血球酒精越幾斯ニ對シテB型特異性補體結合反應ヲ呈スルニ拘ラズ, BS型唾液ニ對シテハ何ラB型特異性補體結合反應ヲ示サ無イノハ, BS型唾液中ノB型質ガ僅少ナルタメ證明出來無イノデアツテ, B型人血球酒精越幾ストBS型唾液中ニ於ケルB型質ノ量的關係ニ依ルモノト思ハレル。

第74表 抗煮沸ABS型唾液免疫家兔血清ノ各型人唾液ニ對スル補體結合反應

抗血清番號	血清型	處置 人唾液 作用	免 疫 前				免 疫 後						
			血 清 稀 釋 倍 數										
			五	一〇	二〇	四〇	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇
Nr. 223	α'β'	OS	k	k	k	k	k	k	k	k	k	k	k
		AS	k	k	k	k	k	k	k	k	k	k	k
		As	k	k	k	k	k	k	k	k	k	k	k
		BS	k	k	k	k	k	k	k	k	k	k	k
		Bs	k	k	k	k	k	k	k	k	k	k	k
Nr. 224	α'β'	OS	fk	k	k	k	fk	k	k	k	k	k	k
		AS	fk	k	k	k	o	o	o	o	sw	fk	k
		As	fk	k	k	k	fk	k	k	k	k	k	k
		BS	fk	k	k	k	sw	fk	k	k	k	k	k
		Bs	fk	k	k	k	fk	k	k	k	k	k	k

第4項 抗生「非排出型」唾液免疫家兔血清ニ就イテ

(I) 抗生As型唾液免疫家兔血清ニ就イテ

第75表ニ示ス如ク, Nr. 202, Nr. 198共ニ, 種屬特異性或ハ人唾液特異性補體結合反應ト見做スベキ反應ヲ呈シテキルガ, A型特異性補體結合反應ハ呈シ無カツタ。

第75表 抗生As型唾液免疫家兎血清ノ各型人唾液ニ對スル補體結合反應

抗血清番號	血清型	處置 人唾液 作用	免 疫 前				免 疫 後						
			血 清 稀 釋 倍 數										
			五	一〇	二〇	四〇	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇
Nr. 202	α/β'	OS	fk	k	k	k	o	o	fk	k	k	k	k
		AS	fk	k	k	k	o	o	sw	fk	k	k	k
		As	fk	k	k	k	o	o	sw	fk	k	k	k
		BS	fk	k	k	k	o	o	sw	fk	k	k	k
		Bs	fk	k	k	k	o	o	fk	k	k	k	k
Nr. 198	α/β'	OS	fk	k	k	k	o	o	o	fk	k	k	k
		AS	fk	k	k	k	o	o	o	fk	k	k	k
		As	fk	k	k	k	o	o	o	fk	k	k	k
		BS	fk	k	k	k	o	o	o	fk	k	k	k
		Bs	fk	k	k	k	o	o	o	fk	k	k	k

(II) 抗生Bs型唾液免疫家兎血清ニ就イテ

第76表ニ示ス如ク, Nr. 152, Nr. 154 共ニ前者同様, B型特異性補體結合反應ヲ認メル事ガ出來無カツタ.

第76表 抗生Ps型唾液免疫家兎血清ノ各型人唾液ニ對スル補體結合反應

抗血清番號	血清型	處置 人唾液 作用	免 疫 前				免 疫 後						
			血 清 稀 釋 倍 數										
			五	一〇	二〇	四〇	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇	三二〇
Nr. 152	α/β'	OS	fk	k	k	k	o	o	o	fk	k	k	k
		AS	fk	k	k	k	o	o	o	fk	k	k	k
		As	fk	k	k	k	o	o	o	fk	k	k	k
		BS	fk	k	k	k	o	o	o	fk	k	k	k
		Bs	fk	k	k	k	o	o	o	fk	k	k	k
Nr. 154	α/β'	OS	k	k	k	k	o	o	sw	fk	k	k	k
		AS	k	k	k	k	o	o	sw	fk	k	k	k
		As	k	k	k	k	o	o	fk	fk	k	k	k
		BS	k	k	k	k	o	o	sw	fk	k	k	k
		Bs	k	k	k	k	o	o	sw	k	k	k	k

第5項 抗生O型唾液免疫家兎血清ニ就イテ

第77表ニ示ス如ク, 抗生OS型又ハOs型唾液免疫家兎血清 Nr. 225, Nr. 211 共ニ, 種屬特異性或ハ人唾液特異性補體結合反應ト見做スベキ反應ヲ呈シテキルガ, O型特異性補體結合反應ハ認メル事ガ出來無カツタ.

第77表 抗生 OS 型又ハ Os 型唾液免疫家兔血清ノ各型

人唾液ニ對スル補體結合反應

免疫唾液	抗血清番號	血清型	處置 作人唾液用	免 疫 前				免 疫 後					
				血 清 稀 釋 倍 數									
				五	一〇	二〇	四〇	五	一〇	二〇	四〇	八〇	一六〇
OS型	Nr. 225	α'	OS	k	k	k	k	o	o	fk	k	k	k
			AS	k	k	k	k	o	o	fk	k	k	k
			As	k	k	k	k	o	o	fk	k	k	k
			BS	k	k	k	k	o	o	fk	k	k	k
			Bs	k	k	k	k	o	o	fk	k	k	k
Os型	Nr. 211	α'β'	OS	fk	k	k	k	o	o	o	sw	fk	k
			AS	fk	k	k	k	o	o	o	sw	fk	k
			As	fk	k	k	k	o	o	o	sw	fk	k
			BS	fk	k	k	k	o	o	o	sp	fk	k
			Bs	fk	k	k	k	o	o	o	sw	fk	k

第7章 總括及ビ結論

總 括

生又ハ煮沸各型人唾液ヲ家兔ニ免疫シテ得タ抗血清ノ各型人血球ニ對スル凝集反應, 各型人唾液及ビ人血清ニ對スル沈降反應, 各型人血球酒精越幾斯及ビ各型人唾液ニ對スル補體結合反應ヲ試ミ, 次ギノ如キ結果ヲ得タ.

1) 抗生 AS 型又ハ生 BS 型唾液免疫家兔血清中ニ, 凝集反應ニ於テハ, 種屬特異性免疫凝集素ノ外ニ, 夫々 A 型(AB 型)又ハ B 型(AB 型)人血球ニ對スル抗 A 又ハ抗 B 免疫凝集素ヲ, 沈降反應ニ於テハ, 種屬特異性沈降素並ビニ抗人唾液特異性免疫沈降素ノ外ニ, 夫々 AS 型(ABS 型)又ハ BS 型(ABS 型)人唾液ニ對スル抗 A 又ハ抗 B 免疫沈降素ヲ, 補體結合反應ニ於テハ, 種屬特異性或ハ人唾液特異性補體結合性抗體ノ外ニ, A 型(AB 型)人血球酒精越幾斯又ハ AS 型(ABS 型)人唾液ニ對スル A 型特異性補體結合性抗體, 又ハ B 型(AB 型)人血球酒精越幾斯ニ對スル B 型特異性補體結合性抗體ノ產生ヲ證明スル事ガ出來タ.

2) 抗生 ABS 型唾液免疫家兔血清中ニモ, 上記種屬特異性免疫抗體及ビ人唾液特異性免疫抗體ノ外ニ, A 型, B 型, AB 型人血球ニ對スル抗 A 及ビ抗 B 免疫凝集素, AS 型, BS 型, ABS 型人唾液ニ對スル抗 A 及ビ抗 B 免疫沈降素及ビ A 型(AB 型)人血球酒精越幾斯又ハ AS 型(ABS 型)人唾液ニ對スル A 型特異性補體結合性抗體ト B 型(AB 型)人血球酒精越幾斯ニ對スル B 型特異性補體結合性抗體ヲ同時ニ證明スル事ガ出來タ.

3) 抗生 As 型又ハ Bs 型唾液免疫家兔血清並ビニ抗生 OS 型又ハ Os 型唾液免疫家兔血清中ニハ, 種屬特異性免疫抗體(凝集素, 沈降素, 補體結合性抗體)及ビ人唾液特異性免疫抗體(沈降素, 補體結合性抗體)ヲ證明スル事ガ出來タガ, 型的免疫抗體ハ何レノ場合モ證明スル

事ガ出来無カッタ。

4) 抗生各型人唾液免疫家兔血清ハ、免疫唾液型ノ如何ヲ問ハズ、各型人血清ニ對シテ著明ナ沈降反應ヲ呈スルガ、人血清ニ對スル型の沈降素ハ證明スル事ガ出来無カッタ。

5) 抗煮沸 AS 型、BS 型又ハ ABS 型唾液免疫家兔血清ニ於テハ、種屬特異性免疫抗體ハ證明サレズ、抗人唾液特異性免疫沈降素及ビ人唾液特異性補體結合性抗體並ビニ型的免疫抗體(抗 A 又ハ抗 B 免疫凝集素、沈降素及ビ補體結合性抗體)ノ產生ヲ證明スル事ガ出来タ。

6) 抗煮沸 OS 型又ハ Os 型唾液免疫家兔血清ニ於テモ、種屬特異性免疫抗體ハ證明サレ無カッタガ、抗人唾液特異性免疫沈降素ノ產生ヲ證明スル事ガ出来タ。

7) 抗煮沸 OS 型又ハ Os 型唾液免疫家兔血清ニ於テハ、種屬特異性免疫沈降素ハ證明サレ無カッタガ、抗煮沸 OS 型唾液免疫家兔血清ニ於テハ、各型「排出型」唾液ニミシテ沈降反應陽性ヲ呈スル沈降素(所謂第 3 異性沈降素ト見做スベキモノ)ノ產生ヲ證明スル事ガ出来タ。抗煮沸 Os 型唾液免疫家兔血清ノ場合ハ、抗人唾液特異性免疫沈降素ノミヲ證明シ、各型「排出型」唾液ノミニ作用スル沈降素ハ證明スル事ガ出来無カッタ。

8) 抗生(又ハ煮沸) AS 型又ハ BS 型唾液免疫家兔血清及ビ抗煮沸 OS 型唾液免疫家兔血清ヲ用ヒテ、各型人唾液ノ「排出型」「非排出型」ヲ、沈降反應ニ依ツテ、簡明ニ鑑別スル事ガ出来ル。而シテソノ判定成績ハ、抗 A 型又ハ B 型人血球免疫家兔血清中ノ型的免疫沈降素並ビニ抗海猿腎臟免疫山羊血清中ノ所謂第 3 異性沈降素ニ依ル鑑別ト全ク同一ノ成績ヲ得タ。

9) 血液型判定用型的免疫凝集素血清ヲ得ルニハ、煮沸「排出型」唾液ヲ以テ免疫シタ方ガ便利デアル。ソレハ該抗血清中ニハ種屬特異性免疫凝集素ノ產生ハ殆ンド無ク、從ツテ O 型人血球デ吸着スルヲ要セズ、ソノ儘抗血清ノ適當稀釋度ニ於テ使用出来ルカラデアル。

10) 唾液型判定用免疫沈降素血清ヲ得ルトキモ、煮沸「排出型」唾液ヲ以テ免疫シタ方ガ便利デアル。ソレハ該抗血清中ニ種屬特異性沈降素ヲ含マズ、抗人唾液特異性免疫沈降素ヲ幾分含ンデキルガ、抗血清ノ適當稀釋度ヲ用フレバ、吸着試験ヲ經ズシテ、其ノ儘使用出来ルカラデアル。

11) 型的免疫抗體ヲ得ルタメニ、家兔ノ「血清型」ヲ考慮ニ入レテ、「排出型」唾液デ免疫シタ場合デモ、第 1 回免疫ノミデハ、該抗血清中ニ目的ノ型的免疫抗體ノ產生ガ甚ダ微弱デアルカ或ハ全然產生シ無イ事ノアル事實ヲ認メタ。之レハ「血清型」以外ニ、型的免疫抗體產生ト何ラカノ關係アル家兔ノ一個性ニ依ルモノト思ハレル。

結 論

1) A 型、B 型又ハ AB 型「排出型」人唾液ニ於テ、液状態ノ型的物質即チ型的凝集原、型的補體結合性抗原ノミナラズ、型的沈降原ヲモ免疫學的ニ證明スル事ガ出来タ。

2) 「非排出型」人唾液中ニハ、以上ノ型的物質ハ免疫學的ニモ證明スル事ガ出来無カッタ。

3) 抗 A 型又ハ B 型「排出型」唾液免疫家兔血清中ノ型的免疫沈降素ニ依ツテ、A 型、B 型、

AB型唾液ノ「排出型」「非排出型」ヲ簡便的確ニ鑑別スル事ガ出來ル。

4) 抗煮沸O型「排出型」唾液免疫家兔血清ヲ用ヒ、沈降反應ニ依ツテ、O型ヲモ含ム各型唾液ノ「排出型」「非排出型」ヲ鑑別スル事ガ出來ル。

5) 血液型判定用型的免疫凝集素血清並ビニ唾液型判定用免疫沈降素血清ヲ得ルニハ、「排出型」唾液ヲ以テ免疫スベキデアアルガ、更ニ煮沸「排出型」唾液ヲ以テ免疫スレバ一層便利デアアル。

6) 型的免疫抗體產生ニ際シテ、「血清型」以外ニ、更ニ重要ナ家兔ノ一個性ガ存在スル

文 獻

- 1) **白井三郎**: 人類同種血球凝集現象ヨリ觀タル精液ノ個人性ニ就イテ。(豫報). 東京醫事新誌, 2376號, 1238頁, (大正13). 人類同種血球凝集現象ヨリ觀タル唾液ノ個人性ニ就イテ. 同上, 2409號, 457頁, (大正14). 2) 同人: 同種血球凝集現象ヨリ觀タル人體諸種分泌液ノ個人性ニ就イテ. 北海道醫學雜誌, 第4年, 1號, 49頁, (大正15). 3) **K. Yamakami**: The individuality of Semen, with reference to its property of inhibiting specifically isohemoagglutination. Journ. of Imm. Vol. 12, P. 185 (1926). 4) **K. Landsteiner and Ph. Levine**: On group specific substances in human spermatozoa. Journ. of Imm. Vol. 12, P. 415 (1926). 5) **大内出**: 人體諸粘素ノ同種血球凝集阻止力. 北海道醫學雜誌, 第4年, 4號, 73頁, (大正15). 6) **G. Greenfield**: Experimentelle Untersuchungen über gruppenspezifische Antigen und Antikörper. Zeitschr. f. Immunitätsf. Bd. 56, S. 107 (1928). 7) **S. Diniz**: Une nouvelle preuve de la vie extra-uterine docimasie siolique. Annales de Méd. Lég. 5 année P. 502 (1925). 8) **古橋寛一郎**: 人類諸體液中ノ同種血球凝集素ニ就イテ. 愛知醫學會雜誌, 34卷, 7號, 114頁, (昭和2). 9) **吉田寛一**: 人類同種血球凝集現象ヨリ見タル人ノ涙液, 唾液, 精液, 諸種體腔液及ビ人臟器細胞ニ就イテ, (豫報). 社會醫學雜誌, 495號, 331頁. 同種並ニ異種血球凝集現象ヨリ見タル人ノ涙液, 唾液, 精液, 尿, 汗, 胎便, 皮垢, 體液, 諸臟器越幾斯, 粘膜上皮, 諸臟器細胞ノ個人性ニ就テ. 同上, 661頁, 同上(承前), 748頁, (昭和3). 10) **H. Lehrs**: Über gruppenspezifische Eigenschaften des menschlichen Speichels. Zeitschr. f. Immunitätsf. Bd. 66, S. 175 (1930). 11) **B. Brahn u. F. Schiff**: Das Chemische Verhalten der serologischen gruppenstoffe A and B, ihr vorkommenen und ihr Nachweis in Körperflüssigkeiten. Klin. Wochenschr., Jg. 8, Nr. 33, S. 1523 (1929). 12) **F. Schiff**: Über gruppenspezifische Substanzen des menschlichen Körpers S. 38 (1931). 13) **B. Müller**: Über den Nachweis eingetrockneten Speichels in Tüchern. Deut. Zeitschr. f. die ges. Gericht. Med. Bd. 11, S. 211 (1928). 14) **原口一億**: 煙草ノ吸殻又ハ使用後ノ爪楊子ヲ以テスル個人性ノ鑑別. 長崎醫學會雜誌, 7卷, 4號, 658頁, (昭和4). 15) **淺田一**: 人類同種血球凝集現象ヨリ見タル人體諸細胞諸分泌諸體腔液ノ個人性ニ就イテ. 社會醫學雜誌, 515號, 1099頁, (昭和4). 16) **古畑種基**: 血液型ト唾液. 臨床ト講座, 4卷, 1號, 41頁, (昭和15). 17) **T. Putkonen**: H. Sasaki 氏論文ヨリ, Ueber das Vorkommen gruppenspezifischen Eigenschaften im Speichel und anderen Körperflüssigkeiten und den Nachweis zweier „Annscheidungstypus“. Zeitschr. f. Immunitätsf. Bd. 77, S. 101 (1932). 18) **速水寅一, 萩章**: 唾液ニヨル血液型判定ノ實驗的批判. 東京醫事新誌,

- 2686號, 1757頁, (昭和5). 19) **比村武彦, 小熊英夫**: 唾液ヲ以テセル血液型判定ニ就イテ. 細菌學雜誌, 420號, 154頁, (昭和6). 20) **山本千任**: 同種血球凝集現象ニ於ケル阻止物質ノ研究. 長崎醫科大學法醫學教室業報, 3卷, 2號, 207頁, (昭和6). 21) **中山福富**: 唾液ニヨル學童ノ血液型検査成績. 東京醫事新誌, 2716號, 579頁, (昭和6). 22) **奥村尚輔, 山本真一**: 隊兵血液型ノ分布狀態並ニ個人免疫體產生能力及ビ性格トノ關係ニ就イテ. 軍醫團雜誌, 218號, 號外, 1585頁, (昭和6). 23) **伊藤恰**: 血液型ト眼疾患. 日本眼科學會雜誌, 36卷, 1773頁, (昭和7). 24) **森英雄**: 唾液ニヨル血液型判定ニ就イテ. 日本微生物學病理學雜誌, 26卷, 1438頁, (昭和7). 25) **越後一雄**: 唾液斑ニヨル血液型判定ニ就イテ. 十全會雜誌, 38卷, 4號, 1123頁, (昭和8). 26) **上道清一, 正木信夫**: 唾液ニヨル血液型検査ニ就イテ. 十全會雜誌, 40卷, 1號, 93頁, (昭和10). 27) **喜多見行正**: 唾液中ニ於ケル血球凝集素ノ研究. 齒科學報, 36卷, 33頁, (昭和6). 28) **上道清一, 正木信夫**: 人唾液ノ型特異性ニ就イテ. 十全會雜誌, 39卷, 12號, 3070頁, (昭和9). 29) **F. Schiff u. H. Sasaki**: Ueber die Vererbung des serologischen Ausscheidungstypus. Zeitschr. f. Immunitätsf. Bd. 77, S. 129 (1932). 30) 同人: Ausscheidungstypus, ein auf serologischen wege nachweisbares mendelndes Merkmal. Klin. Wochenschr., Jg. 11, Nr. 34, S. 1426 (1932). 31) **H. Sasaki**: Ueber das Vorkommen gruppenspezifischer Eigenschaften im Speichel und anderen Körperflüssigkeiten und Nachweis zweier „Ausscheidungstypus“. Zeitschr. f. Immunitätsf. Bd. 77, S. 101 (1932). 32) **F. Schiff u. M. Akune**: Blutgruppen und Physiologie. Mün. med. Wochenschr., Jg. 78, S. 657 (1931). 33) **W. Henle**: Zur Frage der Ausscheidung von gruppen- und speichelspezifischen Substanzen. Zeitschr. f. Immunitätsf. Bd. 80, H. 1/2, S. 171 (1933). 34) **石井清**: 唾液ノ排出型並ビニ非排出型ニ就イテ. 北海道醫學雜誌, 第12年, 7號, 1607頁, (昭和9). 35) **久保忠夫, 石井清**: 排出型, 非排出型ノ遺傳型式ニ就イテ. 北海道醫學雜誌, 12年, 5號, 1088頁, (1934). 36) **L. Hirszfeld**: Ueber den Nachweis der Isoagglutinogene in Körperflüssigkeiten und Organ. Ergebnisse der Hygiene Bd. 15, S. 132 (1934). 37) **野村捷一**: Ausscheider 及 Nichtausscheider ニ就イテ. 犯罪學雜誌, 8卷, 6號, 22頁, (昭和9). 38) **陳增全**: 唾液ノ型質ニ就イテ. 臺灣醫學會雜誌, 34卷, 2110頁, (昭和10). 39) **永井恒**: 唾液ノ分泌型及ビ非分泌型. 東京醫學會雜誌, 32卷, 367頁, (昭和10). 40) **鈴木壽六**: 唾液ノ排出型並ニ非排出型ニ就イテ. 十全會雜誌, 41卷, 3號, 903頁, (昭和11). 41) **F. Schiff u. G. Weiler**: Fermente und Blutgruppen. Biochem. Zeitschr. I. Bd. 235, S. 454, II. Bd. 239, S. 489 (1931). 42) **E. Witebsky u. T. Satoh**: Zur Frage des Blutgruppenferments und Ausscheidung von Blutgruppensubstanz. Klin. Wochenschr. Jg. 12, Nr. 24, S. 948 (1933). 43) **E. Witebsky u. W. Henle**: Die serologische Sonderstellung des Speichels. Zeitschr. f. Immunitätsf. Bd. 80, S. 108 (1933). 44) **佐藤武雄**: 所謂 Blutgruppenferment ト糞便中並ニ唾液中ノ血液型特異物質トノ關係, (抄). 犯罪學雜誌, 8卷, 3號, 260頁, (昭和9). 45) **T. Satoh**: „Blutgruppenferment“ und „Blutgruppensubstanz“ im Speichel. Klin. Wochenschr. Jg. 13, Nr. 22, S. 798 (1934). 46) **O. Sievers**: Beiträge zur Kenntnis der Wirkung des sogenannten „Blutgruppenferments“ im Speichel. Zeitschr. f. Immunitätsf. Bd. 85, S. 163, Ueber die Eigenschaften des „Blutgruppenferments“ im Speichel. Zeitschr. f. Immunitätsf. Bd. 86, H. 1/2, (1935). 47) **増田秋男**: 唾液中ノ型特異物質破壞作用ニ關スル知見, (抄), 犯罪學雜誌. 9卷, 3號, 319頁, (昭和10). 48) **A. Stimpff**: Zur

- Kenntnis der Blutgruppenfermente Zeitschr. f. Immunitätsf. Bd. 76, S. 159 (1932). 49) **F. Schiff, M. Cahen u. A. Stimpfl**: Über gruppenfermente. Zbl. f. Bakt. Bd. 106, S. 333 (1932).
- 50) **F. Schiff u. F. Burón Alonso**: Zur Kenntnis der sog. Blutgruppenfermente. Klin. Wochenschr. Nr. 20, S. 710 (1935). 51) **田代歎一**: 人唾液腺ノ型特異性物質ニ就イテ. 犯罪學雜誌, 11卷, 3號, 45頁, (昭和12). 52) **V. Friedenreich**: Ueber die Auffassung von der Ausscheidung und Nichtausscheidung serologischer Gruppensubstanzen. Zeitschr. f. Immunitätsf. Bd. 91, H. 1, S. 48 (1937). 53) **V. Friedenreich u. G. Hartmann**: Ueber Verteilung der gruppenantigen im Organismus der sogenannten „Ausscheider“ und „Nicht-ausscheider“. Mit Abbildung im Text. Zeitschr. f. Immunitätsf. Bd. 92, H. 2/3, S. 141 (1938). 54) **G. Hartmann**: Ueber die Verteilung der Gruppenantigene im Organismus der sogenannten „Ausscheider“ und „Nichtausscheider“ Zeitschr. f. Immunitätsf. Bd. 93, H. 5/6 (1938). 55) **川西兼敏**: 唾液ノ型特異性阻止物質ト所謂 Blutgruppenferment トノ關係, (第1報). 北海道醫學雜誌, 上半期, 237頁, (1936). (第2報), (第3報), (第4報), 同上, 下半年期, S. 2408, S. 2590, S. 2598 (1937). 56) **F. J. Holzer**: Untersuchung über die gerichtlich-medizin Verwertbarkeit der Ausscheidung von Blutgruppensubstanzen. Deut. Geitschr. f. die ges. gericht. Med. Bd. 28, H. 1-3, S. 234 (1938). 57) **深尾立雄**: 型特異性沈降反應ニ關スル研究, (第1報). 犯罪學雜誌, 9卷, 2號, 142頁, (昭和10). 58) 同人: 型特異性沈降反應ニ關スル研究, (第2報). 十全會雜誌, 42卷, 9號, 2675頁. (第5報), 同上, 42卷, 10號, 2913頁, (昭和12). 59) **谷村吉三**: 沈降反應ヨリ見タルS式血液型ニ就テ. 長崎醫學會雜誌, 16卷, 5號, 1465頁, (昭和13). 60) **前田功**: 牛血清ニヨル排出型並ニ非排出型ノ分類ニ就テ. 十全會雜誌, 43卷, 4號, 1333頁. O型ヲモ含ム排出型, 非排出型ノ遺傳ニ就テ. 同上, 1350頁, (昭和13). 61) **F. Schiff**: Ueber den serologischen Nachweis der Blutgruppeneigenschaft. O. Klin. Wochenschr., Jg. 6, Nr. 7, S. 303 (1927). 62) **E. Witebsky u. K. Okabe**: Ueber die Beziehungen des Rinderblutes zur menschlichen Gruppenmerkmalen. Klin. Wochenschr., Jg. 6, Nr. 23, S. 1095 (1927). 63) **上道清一**: 人血球ノ血清學的研究. 十全會雜誌, 33卷, 5號, (第1報), 394頁, (第2報), 417頁, (昭和3). 64) **本多壽雄**: Schiffノ所謂O型血清ノ研究. 千葉醫學會雜誌, 14卷, 上半期, 1066頁, (昭和11). 65) **M. Eisler**: Ueber Blutantigene im Paratyphus- und Dysenterie-Schigabakterien. Zeitschr. f. Immunitätsf. Bd. 73, H. 1/2, S. 37. Ueber Beziehungen der Blutantigene in Paratyphus B- und Dysenterie-Schigabakterien zu gewissen tierischen Zellen und menschlichen Erythrocyten. Zeitschr. f. Immunitätsf. Bd. 73, H. 5/6, S. 392.
- 66) **矢野豊**: 人血球並ビニ動物血球ノ諸種細菌ト共通性抗原物質ニ就テ, (第2編). 千葉醫學會雜誌, 11卷, 8號, 1161頁, (昭和8). 67) **F. Schiff**: Die Diagnose des serologischen Ausscheidungstypus in der Blutgruppen O. mittels heterogenetischen Immunserums. Zeitschr. f. Immunitätsf. Bd. 82, S. 4 (1934). 68) **加賀谷勇之助**: 人ト異性抗原. 千葉醫學會雜誌, 15卷, 上半期, 44頁, (昭和12). 69) **水口俊明**: フォルスマン氏抗體ト對蹠のナリト考ヘラル、異性人血球溶血素ニ就イテ. 千葉醫學會雜誌, 14卷, 上半期, 926頁, (昭和11). 70) **内田慎一郎**: フォルスマン氏抗體ナラザル緬羊血球異性溶血素ニ對スル阻止反應ニヨル排出型, 非排出型ノ鑑別. 人血球異性溶血素ニ對スル阻止反應ニヨル排出型, 非排出型ノ鑑別, (抄). 第22次日本法醫學會總會會誌, 75頁. 犯罪學雜誌, 11卷, 4號, 附録, 447頁, (昭和12). 71) **加賀谷勇之助, 澤井豊之助**: 人血球異性抗

體ニヨル沈降反應並ビニコレニヨル排出型, 非排出型ノ鑑別, (抄). 第22次日本法醫學會總會會誌, 75頁. 犯罪學雜誌, 11卷, 4號, 附錄, 447頁, (昭和12). 72) 深尾立雄: 抗海狼腎臟免疫山羊血清ニ依ル「排出型」, 「非排出型」ニ就テ, (抄). 第23次日本法醫學會總會會誌, 89頁. 犯罪學雜誌, 12卷, 4號, 附錄, 731頁, (昭和13). 73) 澤井豊之助, 加賀谷勇之助: 人血球免疫山羊血清ニヨル各型人唾液ノ排出型, 非排出型ノ鑑別. 第23次日本法醫學會總會會誌, 112頁. 犯罪學雜誌, 12卷, 4號, 附錄, 754頁, (昭和13). 74) 吉川克巳: 抗人血球免疫家鶏血清ニ對スル沈降反應ニヨル各型人唾液ノ「排出型」, 「非排出型」ニ就イテ. 第23次日本法醫學會總會會誌, 111頁. 犯罪學雜誌, 12卷, 4號, 附錄, 753頁, (昭和13). 75) 大內出: 人血清ヲ以テセル免疫抗體ノ型特异性ニ就イテ. 北海道醫學雜誌, 第5年, 4號, 645頁, (昭和2). 76) 大內出, 平野專: 人精液ヲ以テセル免疫凝集素ノ型特异性ニ就イテ. 北海道醫學雜誌, 第6年, 9號, 1186頁, (昭和3). 77) 長谷川敏雄: 人乳ノ免疫學的研究, (第3回報告). 日本婦人科學會雜誌, 24卷, 11號, 1629頁, (昭和4). 78) 水美登利: 人乳中ノ同種血球凝集素及ビ人乳免疫ニヨル人血球ニ對スル種屬特异性及ビ型特异性凝集素ノ產生ニ就イテ. 十全會雜誌, 36卷, 3號, 672頁, (昭和6). 79) A. Seitz: Beitrag zur Frage der anaphylaxogenen Rolle der Speichels. Zeitschr. f. Immunitätsf. Bd. 18, S. 126 (1913). 80) F. Schiff: Ueber gruppenspezifische Serumpräzipitine. Klin. Wochenschr. Jg. 3, Nr. 16, S. 679 (1924). 81) 同人: Gruppenspezifische Immunpräcipitine für zellfreie Flüssigkeiten. Klin. Wochenschr. Jg. 12, Nr. 8, S. 311 (1933). 82) 勝屋弘弼: 型特异性沈降反應ニ就イテ. 長崎醫學會雜誌, 15卷, 5號, 690頁, (昭和12). 83) 正木信夫: 抗人唾液免疫家兔血清ノ特异性ニ就テ. 犯罪學雜誌, 5卷, 2號, 88頁, (昭和6). 84) E. Poulsen: Ueber die antigene Wirkung des A₁-und B-Rezeptors im Serum und Speichel. Zeitschr. f. Rassenphysiol. Bd. 8, H. 3/4, S. 164 (1936). 85) 越野達郎: 人唾液中ニ於ケル型の物質ニ關スル血清學的研究, (豫報). 犯罪學雜誌, 12卷, 1號, 29頁, (昭和13). 86) 同人: 抗人唾液免疫家兔血清ニ於ケル型の沈降素ニ就イテ, (抄). 第23次日本法醫學會總會會誌, 102頁. 犯罪學雜誌, 12卷, 4號, 附錄, 744頁, (昭和13). 87) 谷村吉三: 膽汁ノ血清學的研究, 特ニ其ノ經膚免疫並ニ人膽汁ノ型特异性沈降反應. 長崎醫學會雜誌, 16卷, 2號, 549頁, (昭和13).